

遠野市教育委員会の権限に属する
事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価報告書
(平成26年度実施事業)

平成27年10月
遠野市教育委員会



目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動	2
1	遠野市教育委員会委員名簿	2
2	教育委員会の会議の開催状況	2
3	教育委員会の会議の審議及び協議の状況	2
(1)	教育委員会定例会・臨時会	2
4	教育委員会の会議以外の活動状況	5
III	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果	9
1	ふるさと教育の推進	10
(1)	就学前教育の充実	10
(2)	学校教育の充実	12
2	生涯学習の推進	21
(1)	社会教育の充実	21
(2)	芸術文化活動の推進	23
3	ふるさとの文化の継承・創造	24
(1)	郷土文化の保存と活用	24
(2)	文化財の保存と継承	25
4	健康づくりの推進	30
(1)	健康づくり総合プログラムの推進	30
	その他附属資料	31
	資料1 平成26年度主要な施策の成果説明	
	資料2 平成26年度総合計画後期基本計画まちづくり指標実績	

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条第 1 項の規定に基づき、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

この報告書は、遠野市教育委員会が平成26年度に実施した施策、事業等の管理及び執行の状況について、点検及び評価を実施し、その結果を公表するものです。

また、この報告書では、遠野市教育振興基本計画の施策体系ごとに点検・評価をまとめています。平成27年 9 月に遠野市議会に提出された「地方自治法（昭和22年法律第67号）第 233条第 5 項に規定する決算に係る主要な施策の成果を説明する書類」のうち教育委員会に係る部分についても、抽出して取りまとめています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 3 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

評価員（5名）

氏 名	役 職
菊 池 和 子	遠野市校長会会長
熊 谷 義 弘	遠野市スポーツ少年団副本部長
馬 場 光 子	遠野市芸術文化協会会長
海 老 糸 子	遠野市地域婦人団体協議会会長
荒 田 美知子	遠野町地域教育協議会会長

II 教育委員会の活動

1 遠野市教育委員会委員名簿 (平成27年10月28日現在)

職 名	氏 名
委 員 長	中 浜 艶 子
委員長職務代理者	角 田 直 樹
委 員	三 浦 芳 昌
委 員	馬 場 明 子
委 員 (教育長)	藤 澤 俊 明

2 教育委員会の会議の開催状況

- (1) 教育委員会定例会 毎月1回の計12回開催
- (2) 教育委員会臨時会 3回

3 教育委員会の会議の審議及び協議の状況

(1) 教育委員会定例会・臨時会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び遠野市教育長に対する事務委任規則(平成17年遠野市教育委員会規則第7号)第2条に規定する事項のうち、平成26年度において教育委員会定例会及び臨時会で審議した案件は、28件です。

【議案の性質別件数】

分類	項 目	件 数
1	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	1
2	教育委員会の規則及び訓令の制定又は改廃に関する事	12
3	学校その他の教育機関の施設、設備、組織編制、教育課程、教材の取扱いその他管理運営の基本方針を定めること	5
4	教育事務に係る議会の議決を経るべき議案について意見を申し出ること	—
5	職員の人事異動の方針を定めること	2
6	職員の分限、懲戒、任免、給与その他の人事を行うこと(県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申を含む。)	3
7	附属機関の委員の任免に関する事	3
8	文化財の指定及び解除並びに修理又は復旧の勧告及び現状変更の許可に関する事	—
9	表彰に関する事	1
10	教育委員会の事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価に関する事	1
計		28

【平成26年度教育委員会会議議案一覧】

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成26年 4 月定例会				
8	遠野市奨学生選考委員会委員の委嘱の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成26年 4月25日	承認	7
9	遠野市就学指導委員会委員の任免の臨時専決処理に関し承認を求めることについて	平成26年 4月25日	承認	7
平成26年 7 月定例会				
10	平成27年度使用小学校教科用図書の採択に関し議決を 求めることについて	平成26年 7月25日	可決	3
11	平成27年度使用中学校教科用図書の採択に関し議決を 求めることについて	平成26年 7月25日	可決	3
12	遠野市民センター運営協議会委員の委嘱に関し議決を 求めることについて	平成26年 7月25日	可決	3
平成26年 8 月定例会				
13	平成26年度遠野市教育委員会表彰の受賞者に関し議決 を求めることについて	平成26年 8月27日	可決	9
平成26年度 9 月定例会				
14	教育委員会事務局職員等の人事の専決処理に関し承認 を求めることについて	平成26年 9月30日	承認	6
平成26年10月定例会				
15	平成27年度遠野市立小中学校教職員の定期人事異動方 針に関し議決を求めることについて	平成26年 10月31日	可決	5
平成26年11月定例会				
16	遠野市立附馬牛小学校の位置の変更に関し議決を求め ることについて	平成26年 11月28日	可決	3
平成26年12月定例会				
17	遠野市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行 の状況に関する点検及び評価に関し議決を求めること について	平成26年 12月25日	可決	10
18	遠野市総合食育センター運営審議会委員の委嘱に関し 議決を求めることについて	平成26年 12月25日	可決	7

議案 番号	件 名	提出日	決議	分類
平成27年 1 月定例会				
1	平成27年 4 月 1 日付け定期人事異動の基準等（事務局職員等）に関し議決を求めることについて	平成27年 1 月28日	可決	5
2	平成27年度学校給食費の額に関し議決を求めることについて	平成27年 1 月28日	可決	3
平成27年 2 月定例会				
3	平成27年度遠野市教育行政推進の基本方針に関し議決求めることについて	平成27年 2 月18日	可決	1
平成27年 2 月臨時会				
4	平成27年度教職員定期人事異動の内申に関し議決を求めることについて	平成27年 2 月27日	可決	6
平成27年 3 月臨時会				
5	教育委員会事務局職員等の人事に関し議決を求めることについて	平成27年 3 月19日	可決	6
平成27年 3 月定例会				
6	遠野市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例施行規則の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
7	遠野市教育委員会教育長の営利企業等の従事許可に関する規則の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
8	遠野市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
9	遠野市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
10	遠野市教育長に対する事務委任規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
11	遠野市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
12	遠野市教育委員会会議傍聴規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
13	遠野市教育委員会公文例式規程の一部を改正する規程の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
14	遠野市教育委員会専決代決規程の一部を改正する規程の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
15	遠野市教育長の権限に属する事務の委任に関する規程の一部を改正する規程の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
16	遠野市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2
17	遠野市立幼稚園管理運営規則の一部を改正する規則の制定について	平成27年 3 月25日	可決	2

4 教育委員会の会議以外の活動状況

教育委員会の委員は、上記の会議のほか、以下のとおり各種行事等に出席しました。

<市議会>

月	行 事 名 等
3月	・本会議（委員長及び教育長） ・予算審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）
6月	・本会議（委員長及び教育長） ・予算審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）
9月	・本会議（委員長及び教育長） ・予算審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）
12月	・本会議（委員長及び教育長） ・予算審査特別委員会、決算特別委員会、議員全員協議会（教育長）

<学校訪問>

月	行 事 名 等
6月	・学校公開研究会（遠野北小学校）
7月	・学校懇談会（遠野小学校）
9月	・学校公開研究会（宮守小学校） ・遠野まるごと給食
10月	・学校公開研究会（青笹小学校） ・遠野まるごと給食
11月	・学校懇談会（宮守小学校） ・学校公開研究会（附馬牛小学校） ・遠野まるごと給食

<各種行事等>

月	行 事 名 等
4月	・平成26年4月1日付け教育委員会定期人事異動辞令交付式 ・小・中学校新任教職員及び転任教職員辞令交付式 ・小学校入学式 ・中学校入学式 ・教育研究指定校説明会 ・奨学生選考委員会 ・遠野市教育研究所運営委員会 ・学校保健会定期総会 ・遠野市芸術文化協会総会 ・遠野市少年委員協議会総会 ・学力向上研究員部会 ・社会科副読本部会

5月	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策会議 ・教科書採択会議 ・就学指導委員会 ・遠野市教育研究会研修会 ・市内小学校運動会 ・市内中学校体育祭 ・遠野市スポーツ少年団本部総会 ・中学校区授業研究会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・就学指導委員会 ・社会科副読本部会 ・中学校区授業研究会 ・市小学校陸上記録会 ・遠野市生徒指導推進協議会総会・研修会 ・各町町民運動会 ・釜石地区租税教室推進協議会定期総会 ・学校公開研究会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市地域教育協議会連絡会 ・要保護児童対策地域協議会 ・学校懇談会 ・西米良中学校修学旅行受入交流 ・平成南部藩寺子屋交流事業「八戸市及び七戸町との児童交流」受入 ・中総体県大会サッカー競技開会式 ・遠野わらすっこまつり ・市内小学校水泳記録会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科副読本部会 ・平成南部藩寺子屋交流事業「八戸市及び七戸町との児童交流」派遣 ・教育研修所全体研修会 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・大府市小学生都市間交流事業 ・日本のふるさと遠野じんぎすかんマラソン大会 ・遠野市中学校陸上競技記録会 ・中学校駅伝大会 ・校長会三役との懇話会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校懇談会 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・わたしの主張遠野大会 ・中学校総合体育大会新人大会 ・遠野まるごと給食

10月	<ul style="list-style-type: none"> ・就学指導委員会 ・学力向上研究員部会 ・社会科副読本部会 ・JFAこころのプロジェクト「夢の教室」 ・遠野まるごと給食 ・市制施行9周年記念功労者表彰式 ・市内一周継走大会 ・小学校学習発表会 ・中学校文化祭 ・市内小学校音楽祭
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市教育研究所運営委員会 ・学力向上対策会議 ・就学指導委員会 ・遠野市生徒指導推進協議会総会・研修会 ・学校公開研究会 ・校長会三役との懇話会 ・遠野まるごと給食 ・小学校学習発表会 ・中学校文化祭 ・遠野食育センターグランドオープン ・遠野地区中学校総合文化祭 ・ことばの教室校外学習発表会 ・遠野市地域教育協議会連絡会 ・市民囲碁まつり ・遠野ユネスコ協会「わたしの町のたからもの」絵画展表彰式
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上研究員部会（2回） ・社会科副読本部会（2回） ・学校懇談会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・市民新年交賀会 ・遠野市中中学生海外派遣交流事業・結団式 ・成人式「はたちのつどい」 ・教育研究所研究発表会 ・市内小中学校環境科学発表会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市教育研究所運営委員会 ・学力向上対策会議 ・遠野市教育文化振興財団顕賞式 ・保育のつどい ・遠野市学校保健会研究大会 ・中学校海外派遣交流事業報告会 ・遠野市民スキー大会

3月	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会 ・小・中学校卒業証書授与式 ・教育委員会退職者等辞令交付式
----	---

<その他の行事>

月	行 事 名 等
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市老人クラブ連合会総会 ・遠野市芸術文化協会総会
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市大館地区の新田城まつりの運営委員会との交流会 ・遠野市PTA連合会定期総会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい勤労青少年のつどい
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・社会を明るくする運動遠野地区大会 ・遠野市老人クラブ連合会さわやかスポーツ大会
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市少年消防クラブ防火野球大会 ・遠野市戦没者追悼・平和祈念式
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・交流市町村との交流会 ・遠野市産業まつり
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市総合防災訓練 ・遠野市郷土芸能共演会 ・遠野小学校にぎやかコンサート
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の舞台・遠野物語ファンタジー旗揚げ会 ・市婦協歳末助け合い演芸大会 ・赤羽根スキー場安全祈願式 ・遠野市長杯争奪遠野市少年少女空手道選手権大会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野市消防出初式 ・地域で子どもを育てる活動発表会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・清養園氷上まつり ・遠野物語ファンタジー

Ⅲ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況と点検・評価の結果

遠野市教育委員会は、遠野市の行政の基本方針である「遠野市総合計画後期基本計画」（平成22年11月策定）、「遠野市教育振興基本計画」（平成21年度策定）に基づき、教育行政を推進しています。

教育委員会は、下図に示す体系において、2つの大綱及び5つの政策にかかわっています。この5つの政策ごとに、平成26年度における実施事業の成果と課題を総括しました。

【遠野市総合計画後期基本計画体系図】

基本理念 「遠野スタイルの創造」

将来像 「永遠の日本のふるさと遠野」

【遠野市教育振興基本計画体系図】

基本理念「ふるさとの文化を生かし、「夢」と「誇り」を育む学びのまちづくり

大綱	政策	施策	
1 自然を愛し共生するまちづくり	1 自然と共生する環境づくり		
	2 快適な居住環境の形成		
	3 道路交通基盤の充実		
	4 安心安全な地域づくり		
2 健やかに人が輝くまちづくり	1 健康づくりの推進	1 健康づくり活動の推進（スポーツ）	
	2 地域福祉の充実	2 医療体制の充実	
	3 子育て支援の推進		
3 活力を創意で築くまちづくり	1 農畜林業の振興		
	2 商工業の振興		
	3 観光と交流のまちづくり		
4 ふるさとの文化を育むまちづくり	1 ふるさと教育の推進	1 就学前教育の充実	
		2 学校教育の充実	
	2 生涯学習の推進	1 社会教育の充実	
		2 芸術文化活動の推進	
	3 ふるさとの文化の継承・創造		1 郷土文化の保存と活用
			2 文化財の保存と継承
		3 郷土の文化を生かした地域創造	
5 みんなで考え支えあうまちづくり	1 住民主体のふるさとづくり		
	2 行財政基盤の強化		
	3 行政サービスの向上		

【評価】 達成 概ね達成 未達成（まちづくり指標より）

なお、指標を設定していない事業については、事業を実施したことによる評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(1) 就学前教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①家庭、地域での教育の充実	保育所設置者運営事業	特別保育事業や地域子育て支援拠点事業を社会福祉法人遠野市保育協会等に委託し、保育所地域活動や地域子育て支援センターの活用により、乳幼児向けのイベント情報や子育て情報を提供するとともに、地域住民等との交流を促進した。	達成	保育所地域活動として、市内保育所において、世代間交流事業や異年齢児交流事業を実施し、乳幼児に様々な体験活動の機会を提供した。 また、地域子育て支援センターを活用して、親子体操やまなごし音楽会などのイベントを毎月開催し、母親や父親の交流の場、子育ての情報交換の場を提供した。 地域子育て支援センター利用者 延べ3,357人
②幼稚園、保育所の環境の充実	私立幼稚園就園奨励事業	私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じ、幼稚園設置者が保育料等を減免した場合に国から1/3以内の補助を受けて就園奨励した。 補助金対象園児数 79人	達成	私立幼稚園の園児87人のうち79人が対象となり、入園料及び幼稚園保育料を対象とした助成を行ったことにより、保護者の経済的負担を軽減した。 補助金対象園児数 79人
③発達への支援	わらすっこの育ち療育支援事業	1 何らかの障がい及び発達の遅れ等がある就学前の児童に対し、個別活動や小集団活動（ホースセラピー、キッズ体操等）を取り入れた療育支援教室を実施することで、支援が必要な児童の心身の発達を促した。 2 補装具補助の対象とならない軽中等度難聴児に対して補聴器具の購入費の一部助成を行い、保護者の経済的負担軽減を図った。	概ね達成	1 療育支援教室（のびっこ教室、ジャンプ教室）は、教育委員会や保健医療課、市内各幼稚園・保育園と連携し、個別活動等を通して支援が必要と思われる児童の心身の発達を支援した。 ※のびっこ教室：心身に発達の遅れが認められる就学前の児童を対象 ※ジャンプ教室：発達の遅れが生ずるおそれがある就学前の児童を対象

		<p>3 就学している障がい児が、放課後又は休校日に自宅に監護する者がいない等の理由により、市内の社会福祉事業所に通所（以下「日中一時支援事業」という）した際に伴う利用料の自己負担額を助成することにより保護者の経済的負担を軽減し、療育の支援を図った。</p>	<p>2 軽中等度難聴児補聴器助成事業は、児童1人に助成を行った。</p> <p>3 日中一時支援事業の利用料の自己負担額の全額を助成したことにより、保護者の経済的負担の軽減を図り、児童の生活機能の向上や社会的な自立生活に向けた支援の充実を図った。</p> <p>療育支援教室</p> <p>のびっこ教室 8人</p> <p>ジャンプ教室 4人</p> <p>幼児教育相談員 1人設置</p> <p>軽度・中等度難聴児補聴器助成 1件 95,717円</p> <p>日中一時支援事業利用人数 7世帯7人 406,000円</p>
総括	遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」に基づき、関係機関と連携を図りながら、地域で子育てを支援する環境をつくり児童福祉の向上に努めた。		
評価委員の意見等	・特になし		

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①教育内容 の充実	学力向上事業	<p>児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置した。</p> <p>市内小中学生（小2～中3）を対象にして、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施した。その結果をもとに各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元した。</p> <p>教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、成果を市内小中学校へ還元した。</p>	達成	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」に取り組んだ。</p> <p>市内3校において学校公開研究会を開催したほか、1月には研究成果を中学校ごとに発表し合い、市内全教職員で学力向上に係る方向性を共有した。</p> <p>遠野市教育研究所内及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みを解消し、学校生活の意欲化が図られている。</p>
	特別支援教育推進事業	<p>市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置した。</p> <p>また、要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置した。</p>		<p>特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成及び、特別支援教育の充実を図ることができた。</p> <p>学習指導講師が巡回指導を行うことで、児童のニーズに応じた適切な指導を提供することができた。</p> <p>特別支援教育支援員の配置 16人 学習指導講師の配置 1人</p>

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①教育内容 の充実	外国人講師招聘事業	小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手の派遣を受けた。	達成	<p>外国語指導助手の生きた英語に触れることで、児童生徒が言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地及び基礎を養うことができた。</p> <p>派遣学校数 14校 派遣回数 178回</p>
	平成・南部藩寺子屋交流事業	<p>根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市の児童と、相互訪問による交流活動を行う。</p> <p>日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図った。</p>		<p>各小学校を代表する児童が遠野市の代表として活動することで、リーダーとしてあるべき行動を学ぶことができた。</p> <p>また、ふるさとを改めて見つめる機会を持ち、ふるさとの素晴らしさ、地域のつながりやきずなに気付くことで、遠野の将来を担う児童の育成につなげることができた。</p> <p>参加児童 26人</p>

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①教育内容の充実	遠野わらすっこ「夢の教室」事業	公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、そのOB等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行った。	達成	<p>JリーガーOB等の「夢先生」らによる、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、努力することの大切さを語り合う授業を行った。</p> <p>「夢の教室」後に、児童が夢について友達と語り合い真剣に考える姿があった。</p> <p>実施校数 5校 実施回数 7回</p>
	いわての復興教育学校支援事業	<p>いわての復興教育「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（『いきる』『かかわる』『そなえる』）を育てること」に取り組む事業。</p> <p>岩手県から復興教育推進校として指定を受けた2校が主体的に復興教育に取り組んだ。</p>		<p>市内の小中学校から各1校が復興教育推進校に指定され、東日本大震災の被災者体験や、その後の復興に関わるボランティア活動等の貴重な体験を通じて、自らの生命『いきる』や他者との絆『かかわる』の大切さを学んだ。</p> <p>また、自分たちの地域の危険な場所を理解することにより、身近にある災害に対する防災意識の向上『そなえる』が図られた。</p> <p>復興教育推進校指定校 上郷小学校、遠野東中学校</p>
総括	<p>遠野市教育振興基本計画に基づき、子どもたちの「生きる力」（知・徳・体のバランスのとれた力）を育むため、各種の施策を展開した。</p> <p>特にも、子供たちの学力向上を図るため、中学校区ごとに定めた2つの視点に基づく授業改善の取り組みは、平成26年度が2年目であり、今後、取り組みがより具体化され、継続して取り組むことの成果が出てくるものと期待される。</p>			
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育推進事業について、今後も充実していただきたい。 ・学力向上事業について、概ね達成であり努力して取り組んでいる。 ・いじめ対策、生命を大切にす心の教育の取組みを見える形にして欲しい。 			

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
②教育環境 の充実	通学対策事業 (小・中学校)	遠距離から通学する児童生徒のため、スクールバス等の運行や路線バスの活用による通学支援を行うとともに、その他の遠距離通学児童生徒に対しては通学費補助金を支給した。 老朽化したスクールバス等の更新を行った。	達成	通学支援についてはスクールバス 27 台、スクールタクシー 2 台、路線バス 1 台による送迎を行い、遠距離通学者の負担軽減を図った。また、附馬牛小学校及び鱒沢小学校の通学バス等の更新を行い、児童の安全確保に努めた。
	理科教材整備事業 (小・中学校)	学習指導要領の改訂に即した理科教育の観察や実験に必要な器具等の購入整備を行い、教育環境の充実を図った。		小学校 5 校、中学校 1 校の理科備品の購入及び更新が図られた。ただし、国が定める整備率に達していないことから、更なる整備を行う必要がある。
	就学援助事業 (小・中学校)	経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品や校外活動費等を援助した。		経済的に就学が困難な児童 143 人、生徒 90 人に対し、義務教育の円滑な実施を図った。
	学力向上学校教材等 充実事業 (小・中学校)	平成 27 年度からの小学校使用教科書の改訂に伴い、教員の指導力を向上させ児童の学力向上に資することを目的に、教師用指導書及び指導資料等を購入した。		平成 27 年度教科書改訂後の小学校教師用指導書及び指導資料等を購入し、児童の学力向上及び教員の指導力向上に努めた。 指導書 765 冊 指導資料 125 点
	プール改修事業 (小・中学校)	綾織小学校プールろ過機の更新及び老朽化した遠野西中学校プールの改築整備に係る実施設計を行った。		安全に水泳実習を行うことができる環境整備が図られた。今後も老朽化したプール施設の更新が必要であることから、遠野市総合計画への事業登載を行い予算確保に努める。

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
②教育環境 の充実	附馬牛小学校整備事業 (繰越明許)	旧附馬牛中学校の跡地活用及び附馬牛小学校の老朽化により、旧附馬牛中学校を小学校校舎に改築し児童の教育環境を整備した。	達成	既存校舎では教室数に不足が生じることから、今後の児童数(複式学級)を踏まえ普通学級を5室、理科室と図工室を一教室の前後で隔てる等の工夫を凝らして必要な教室数を確保したほか、階段の蹴り上げ面の変更や手すりの設置、バルコニーの隙間を狭めるなどの安全対策を行った。また、照明のLED化を図り節電と長寿命化を図った。
	綾織小学校改築整備事業 (繰越明許)	平成25年度に大規模改造を実施した特別教室棟で使用する備品を購入した。 平成27年度に新設される特別支援学級に対応するため、多目的ホールに間仕切りを設置した。		特別教室棟(音楽室、理科室、家庭科室、図工室、パソコン室、多目的ホール)の管理備品(机・椅子・カーテン等)の購入し教育環境の充実を図った。 特別支援学級に対応しうる教室がないことから、多目的ホールに教室を確保し、平成27年度の開設に備えた。
	遠野中学校改築整備事業	クラブ活動及び一般開放事業に資するためLEDの夜間照明の設置と改築した音楽室及び多目的ホールで使用する備品を購入した。		校舎の改築に伴い撤去した屋外照明灯2基の復旧を行い、夜間の一般開放事業の利用促進及び安全確保に努めた。 音楽室及び多目的ホールで必要となる管理備品の購入を行い、教育環境の整備に努めた。

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
②教育環境 の充実	遠野中学校屋内運動 場改築整備事業	大規模改修の実施に当 たり、劣化対策及び安全性の向 上とともに、節電及び長寿命 化のためLED照明の導入を 踏まえた改修設計を行った。	達成	平成 27 年度実施予定の大規 模改修に向け、必要な改修設 計を行った。改修工事が学校 運営と並行して行われること から、生徒の安全確保に努め ながら行う必要がある。
	遠野中学校改築整備 事業（継続費）	平成 25 年度からの継続工事 として、多目的ホール、音楽 室及び校舎と屋内運動場をつ なぐ渡り廊下の建築を行った。		4 箇年（第Ⅰ期工事（平成 23～24 年度）及び第Ⅱ期工事 （平成 25～26 年度））に渡る 遠野中学校校舎改築整備が完 了した。今後は定期的な安全 点検の実施や清掃活動を行 い、適切な校舎の維持・管理 に努める。
	遠野東中学校整備事 業（繰越明許）	倉庫・駐輪場を建築し、倉 庫屋根に環境整備部環境課事 業により太陽光発電パネルを 設置した。		屋外の環境整備用具や体育 用具等の適切な管理保管を行 う環境が整えられた。 太陽光発電パネル及び蓄電 池を設置し環境教育の推進を 図るとともに非常時の電源を 確保できる環境を整備した。
	遠野西中学校整備事 業（繰越明許）	旧宮守給食センターを多目 的ホールに改修したほか、屋 外運動場に夜間照明を設置 し、教育環境の整備を図っ た。		多目的ホール及び夜間照明 の設置により、市内中学校 3 校の教育環境の均一な整備が 図られた。
総括	<p>学校整備については、児童生徒が安全かつ健康で心豊かな学校生活を送ることができるよう整備に努めた。特に遠野中学校は平成 26 年度をもって工事が完了し、市内学校施設の耐震化率が 100%となった。</p> <p>また、通学対策では、スクールバスによる安全かつ効率的な運行に努めたほか、教材整備、就学援助など、引き続き教育を支える学習環境の向上を図った。</p>			
評価委員の 意見等	・特になし			

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
③ 学校給食の充実	学校給食事業	<p>安心安全な学校給食の提供と季節に応じた地元食材を使用した給食メニューの充実を図った。また、地産地消の推進を図るとともに栄養教諭が学校訪問し栄養指導を実施した。【給食実施校数】</p> <p>1 年間の給食実施数 小学校 170 回、中学校 168 回</p> <p>2 給食供給人数 2,327 人</p> <p>3 学校訪問及び栄養指導 小学校 24 回 中学校 6 回</p>	達成	<p>総合食育センターの開設により高度な衛生管理体制が構築され、多彩なメニューやアレルギー対応食等の提供が可能になった。</p> <p>食材によっては、遠野産の食材を積極的に使用するよう心掛け、安心安全でおいしい給食の提供ができた。</p> <p>学校給食食材に占める地場産物使用割合 65.3%</p>
	ふるさと食材供給事業	<p>学校給食に遠野産の農産物を積極的に使用し、安心安全な給食の提供と学校給食の地産地消率の向上を図るとともに、郷土食や地域に関わる給食メニューを提供することで、郷土の食文化や農畜産業への理解を深める「遠野まるごと給食」を実施した。</p> <p>遠野まるごと給食 年3回実施</p>		<p>季節感のある地域の食材を利用した「遠野まるごと給食」の実施により、地産地消の推進が図られた。</p> <p>また、食育推進団体の作成した献立の活用、食材生産農家や給食メニューの提案者を招待しての学習を通じ、児童・生徒が郷土食や農畜産業への理解を深めることができた。</p> <p>遠野まるごと給食 年3回実施</p>
総括	<p>市内小中学校の児童生徒に対し、栄養バランスの取れた食事を提供することを通じて、望ましい食習慣の養成、好ましい人間関係の形成、健康増進などを目標として安心で安全なおいしい学校給食の提供に努めた。</p> <p>また、遠野市食育推進計画に基づき遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消の推進を図るとともに地域の食文化への理解を深め食育の推進にも努めた。</p>			
評価委員の意見等	<p>・学校給食での塩分摂取について、給食の試食で特に夏の暑い日の摂取について不足しているように感じているが、味付けに工夫を凝らしていただきたい。</p>			

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
④学校と家庭、地域との連携の充実	特色ある学校づくり事業	児童生徒の生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内の小中学校がそれぞれ企画・立案した事業計画に基づき、地域の歴史・文化・伝統などの特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組んだ。	達成	市内全ての小中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動が積極的に展開された。 地域住民が講師を務め、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで、ふるさとへの愛着と誇りをもつ心が着実に育まれている。
	地域教育文化振興事業	学校・P T A・地域が連携し、地域で家庭教育等を推進するための組織「地域教育地域協議会」の事業を支援するため補助金を支出した。		地域教育協議会 11団体 主な活動 ・家庭読書の推進 ・世代間交流 ・家庭教育ゼミナール支援 ・各町まっりの参加 ・郷土芸能の継承等
総括	家庭、地域、学校が連携し、情報共有や相互理解を通じ、子育てへの理解や学校地域活動の活性化、保護者等の教育力向上について活動を展開した。			
評価委員の意見等	・特になし			

主要事業点検・評価

基本方針	1 ふるさと教育の推進			
施策	(2) 学校教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
⑤ 高等学校、大学、各種学校への進学等の支援	育英事業 奨学金	遠野市奨学資金貸与条例に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により就学困難な者に対して学資の貸与を行い有能な人材を育成した。	概ね 達成	新規奨学生の募集を行い、応募者 28 名全員を奨学生に決定し、継続奨学生と合わせて 86 人に奨学金を貸与し有能な人材の育成に努めた。 高校生の応募者がいなかったことから、新入学生のみならず在校生への制度の周知を検討したい。 新規奨学生採用数 大学生等 28 人 継続奨学生 大学生等 58 人 貸与辞退者 5 人
総括	遠野市奨学金貸与条例（平成 17 年遠野市条例第 88 号）に基づき、向上心に燃える優秀な学生であって、経済的な事由により就学が困難である学生に対して学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めている。 貸与終了後、償還計画による償還が開始されるが、滞納による未償還が生じることもあり回収に時間を要している。滞納者に対しては、定期的な連絡や訪問による催告を行い納付の促しのほか、償還計画の見直し等にも対応している。			
評価委員の意見等	・特になし			

基本方針	2 生涯学習の推進			
施策	(1) 社会教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①総合推進体制の整備	生涯学習体系の構築	生涯学習講座に民間活力を取り入れ、魅力ある講座の拡充を図った。	達成	生涯学習講座に関し、業務委託を実施した。
	男女共同参画社会の推進	男女が互いを認め合い、能力を発揮しながら協力し合える「男女共同参画社会」の推進を図るため、フォーラムの開催や「いわて男女共同参画サポーター」の育成支援を行った。		フォーラムを開催し、男女共同参画社会の市民啓発を行った。約100人参加。 いわて男女共同参画サポーターは1人の応募があり、研修を通じて地域で男女共同参画を進める人材育成を図った。
	都市間交流推進事業	武蔵野市との児童交流、サレルノ市姉妹都市締結30周年事業を実施した。		児童19人が武蔵野市へ赴き、現地の児童との都市間交流を実施した。 姉妹都市締結30周年記念としてサレルノ市訪問団を組織し、51人がサレルノ市を訪問した。多くの市民と交流したことにより、改めて遠野市とサレルノ市の絆の深さを確認することが出来た。さらに観光も含めたまちづくりのヒントを得るなど有意義な訪問であった。
②家庭、地域教育の充実	家庭教育を推進するための講演会へ支援	「家庭教育ゼミナール」を市内13会場で実施。情報モラルやメディアの利用方法、子どもの健康・体力づくり、命に関する講演など、多岐にわたる講演会等を実施した。 3地域で取り組まれている実践活動について、市内2地域と教育委員会から事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時に開催。地域での取り組みの事例発表や講演会を実施した。	達成	家庭教育ゼミナール 13回 家庭教育ゼミナール参加者 1,358人 地域で子どもを育てる活動発表会・家庭教育講演会 1回、200人参加

主要事業点検・評価

基本方針	2 生涯学習の推進			
施策	(1) 社会教育の充実			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
③成人教育の充実	社会教育団体の育成	社会教育団体を認定し、各種活動を支援をした。	達成	市民センター使用料の減免等活動の支援を行った。 出前講座について、実績が無かったので、次年度は周知を図りたい。
④高齢者教育の充実	老人スポーツ大会の開催 老人クラブの育成	各種大会への参加 健康づくり講座 リーダー研修会の開催	達成	グランドゴルフ、陸上大会などのスポーツ大会や、料理教室、リーダー研修等老人クラブの活動を支援した。 減少しているクラブへの加入促進を共同で行なっている。
⑤青少年の健全育成と指導者の養成	青少年健全育成活動事業	少年センターによる街頭補導	達成	少年委員を中心として毎月の青少年の健全育成に努めている。
	青少年活動サポート事業	囲碁将棋教室の実施		地域の指導者による囲碁将棋教室を実施した。 また、ふるさと発見探偵団を組織し、市内の隠れた魅力を発見し、団員である児童生徒の育成を行った。
		遠野わらすっこまつりの開催		遠野わらすっこまつりを実施し、まつりを通じて昔ながらの遊びや新たなレクリエーションを提供した。
総括	学社連携、地域連携をはじめとして、子どもから高齢者まで幅広く市民の諸活動をサポートし、市民生活の充実と人材の育成に努めた。			
評価委員の意見等	・男女共同参画社会の推進について、若い方々の参加の推進を図っていただきたい。			

主要事業点検・評価

基本方針	2 生涯学習の推進			
施策	(2) 芸術文化活動の推進			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①芸術文化団体の育成と支援 ②創作芸術文化活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化団体を対象とした活動発表の場を提供し団体の支援 ・公設のバレエ、合唱隊を運営し創造性豊かな子どもの育成 ・「遠野物語ファンタジー」などの市民協働の芸術活動の支援 ・市民を対象とした芸術作品等の展示 	<ol style="list-style-type: none"> 1 自主事業の開催 2 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊運営 3 市民の舞台「遠野物語ファンタジー」の開催 4 岩手県青少年劇場の開催 5 遠野市芸術文化協会の活動支援 6 遠野市民芸術祭の開催 	達成	<ol style="list-style-type: none"> 1 自主事業の開催 狂言風オペラ、栗コーダー開催 鑑賞者計 926 人 2 バレエ、合唱を通じ年少期から芸術に親しむ環境づくりを行った。 3 第 40 回遠野物語ファンタジーを開催した。 4 小学生を対象に授業の一環として芸術に親しむ場を提供した。 5、6 協会への補助、活動発表の場として芸術祭を実施多くの市民の参加を得ることが出来た。
総括	<p>当該事業について業務委託を実施し、民間活力による芸術振興を図った。</p> <p>平成 25 年度、市民体育館改修等により芸術祭の展示部門を縮小したため、指標で定める参加者数が減少した。</p> <p>市民の舞台「遠野物語ファンタジー」が 40 年目を迎えた。田村明まちづくり賞、遠野文化賞を受賞し、改めて郷土の文化のすばらしさを認識することが出来た。今後も市民協働の集大成の場である「遠野物語ファンタジー」を地域活性化の起爆剤として取組んで行き、引き続き市民協働の芸術活動を進める。</p>			
評価委員の意見等	<p>・ファンタジー、芸術祭、伝統継承の会員の高齢化、会員の減少があります。会員の減少に歯止めをかける取組むが必要で、魅力あるもの、趣味を持って、豊かな生活が送れるように経験を積むような支援をお願いしたい。</p>			

基本方針	3ふるさとの文化の継承・創造			
施策	(1) 郷土文化の保存と活用			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①博物館活動の推進	博物館事業	<p>市民の学習ニーズの多様化に対応し、登録博物館として郷土の歴史・文化の調査研究、資料の収集と保存及び記録を進めた。</p> <p>夏季特別展や、町家のひなまつりに合わせた特別展、博物館教室等を開催し研究成果を広く市民に発信した。</p>	概ね達成	<p>夏季特別展「魂のゆくえ～描かれた死者たち～」、商工会と連携して遠野町家のひなまつり開催に合わせた特別展を開催。児童生徒を対象とした博物館教室等を開催。郷土の学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。</p> <p>博物館入館者数 19,613 人 講座・教室受講者数 944 人</p> <p>博物館の基礎となる資料の調査・整理を行いながら特別展の開催、博物館教室の開催などの事業を通じて文化の向上と、交流人口の拡大を図る。</p>
②図書館活動の推進	ブックスタート事業	1歳児健康診断時に「ボランティアグループわらべ」による絵本の読み聞かせを実施し、併せて絵本とバッグを配布し、絵本を活用した子育て支援を推進した。	達成	<p>読み聞かせ実施回数 12 回 絵本配布者数親子 204 組 (配布率 102%)</p> <p>「ボランティアグループわらべ」への支援を継続していく。</p>
	図書館総合情報システム整備事業	整備した新図書館総合情報システムを活用しスムーズな貸し出し業務などにより図書館利用と施設貸出の促進を図った。	概ね達成	<p>スムーズな貸し出し業務と併せ、本の企画展開催、図書館教室、図書館職場体験の受入、移動図書館車の運行見直しなどにより読書意欲の喚起と利用促進を図った。</p> <p>図書館利用者数 17,008 人 図書貸出冊数 93,607 冊 図書館利用と施設貸出の促進を図る。</p>
総括	市の人口減少や東日本大震災などの影響により、当初目標としていた全ての数値には届かなかったが、博物館の受講者数や移動図書館車および学校図書への貸出などの数値では目標を上回ることができた。			
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館の利用にあたり、高齢者等が利用しやすい環境づくりをお願いします。 ・図書館について、明るい雰囲気照明器具、掲示スペースの環境づくりと、博物館との複合施設の良さをだしていただきたい。 			

主要事業点検・評価

基本方針	3ふるさとの文化の継承・創造			
施策	(2) 文化財の保存と継承			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①文化財調査・保護保存	重要文化財千葉家住宅整備事業	国指定重要文化財千葉家住宅の保存活用に関する基本方針を定めるため、委員会を組織し、地域住民と連携を図りながら保存活用基本構想の策定を推進する。また、来場者の安全確保を目的とした防災用道路の整備を他の事業に先行して実施した。	概ね達成	<p>国指定重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を設置し、委員会を3回開催、基本構想案について協議した。</p> <p>また、市民組織として重文千葉家の活用を考える会を立ち上げ、学習会等の実施を通じて意見交換を行い、基本構想の策定に反映する体制を整えた。</p> <p>防災用道路については障害物の撤去等があり平成27年度繰越事業となった。</p> <p>事業が長期間におよぶため計画的に事業を実施していく。</p>
	旧菊池家住宅茅葺屋根改修事業	昭和53年に小友町から移築されて以来、葺き替えされずに傷んでいた茅葺屋根を全面葺き替えにより修復した。		<p>文化庁の指導と国庫補助の支援を受けて466.54㎡の葺き替えを完了した。</p> <p>地元小学校に現地公開で学習機会を提供した。</p> <p>遠野産の茅を使用し、地元職人を雇用して技術者の育成を図った。</p> <p>良好な維持管理と活用を継続する。</p>

主要事業点検・評価

基本方針	3ふるさとの文化の継承・創造			
施策	(2) 文化財の保存と継承			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①文化財調査・保護保存	文化財保護事業	市内の文化財調査を実施し、審議会に諮ると共に、指定文化財の保護、周知活動を通じて文化の向上と郷土愛の醸成を図った。	概ね達成	<p>奥琴畑湿原調査を4回実施し、現状を把握した。</p> <p>文化財保護審議会を開催し、指定物件1件「砥森神社のアカマツ」を解除した。</p> <p>文化財標柱7基、説明板1基について耐久性に優れたものに更新した。</p> <p>指定に向けた調査案件について計画的に調査を実施して行く。</p> <p>文化財保護審議会委員、後継者の育成が必要である。</p>
	埋蔵文化財発掘調査事業	緊急開発行為等に伴う発掘調査、室内整理、報告書作成を行い、埋蔵文化財の保護と地域の歴史資料発掘、周知に努めた。		<p>分布調査120件、試掘調査8件を行い埋蔵文化財の保護に努めた。</p> <p>出土遺物の電子データ化に向けて準備を進めた。</p> <p>速報展や埋蔵文化財関係の教室を開催し普及啓発に努めた。(61名参加)</p> <p>出土遺物の電子データ化を行い、効果的情報公開により調査成果を還元する。</p> <p>収蔵庫整備を検討する。</p> <p>埋蔵文化財事業の安定的実施に必要な体制づくりを堅持する。</p>

主要事業点検・評価

基本方針	3ふるさとの文化の継承・創造			
施策	(2) 文化財の保存と継承			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
①文化財調査・保護保存	文化的景観保護活用事業	柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた遠野市独特の景観を将来に伝えるため、国の重要文化的景観に選定されている「遠野荒川高原牧場 土淵 山口集落」の保護および活用を図った。	概ね達成	水車小屋改修に向けて地元ワークショップを2回開催し活用意見を取りまとめた。 文化的景観活用地域づくり研修を実施。(一関市、地元住民14名参加) パンフレット3,000部を増刷した。 文化的景観保存調査委員会開催した。 良好な景観維持と活用に必要な事業を地元・関係機関と協議しつつ計画・実行して行く。
	遠野「語り部」1000人プロジェクト事業	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため多様な「語り部」を育成し、遠野の大切な人的文化資源として位置づけ、交流人口の拡大やにぎわいづくりを推進した。		スクーリングを実施し、平成26年度新たに98人を「語り部」に認定した。(昔話3人、子供語り部81人、歴史8人、郷土芸能4人、生業2人、累計710人) 中心市街地に語り部スポット2箇所を設置した。 さらなる人材発掘に努めるとともに活動の場提供について検討していく。

主要事業点検・評価

基本方針	3ふるさとの文化の継承・創造			
施策	(2) 文化財の保存と継承			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
②郷土芸能活動の推進	文化財保護事業(郷土芸能)	郷土芸能の保存と伝承をはかるため、記録保存を行う。 また、郷土芸能団体等の備品整備や公開・発表事業に対して補助し活動を支援した。	達成	郷土芸能備品整備補助4件。(塚沢早池峰神楽、一日南部ばやし、長野しし踊り、行山流湧水鹿子踊り) 岩手県文化振興事業団補助申請支援5件。(鷹鳥屋しし踊り、仲町南部ばやし、似田貝神楽、遠野郷南部田植え踊り、遠野南部流鏝馬) 第5回遠野市郷土芸能共演会(11月30日、宮守ホール、入場者350人)、第22回遠野郷神楽共演会(1月25日、たかむろ水光園、入場者約200人)の開催支援。 郷土芸能映像記録1件。(第22回遠野郷神楽共演会) 後継者育成を含め、郷土芸能の伝承に必要な支援を継続する。
③遠野遺産認定の推進	遠野遺産認定事業	市民の宝である文化的地域資源を遠野遺産として認定し、市民協働で保護活用活動を継続し、その支援を通じて地域づくりを推進する。	達成	新規認定件数6件。(熊野神社・六角牛大権現、正一位鋳物稻荷神社、遠野郷南部田植え踊り、遠野南部流鏝馬、大峰鉦山とその周辺、米田の熊野神社と御神木) 遠野遺産認定調査委員会開催。 平成26年度版ガイドブック3,000部作成。 遠野遺産表示板8基設置。 遠野遺産(無形)竿頭綬3枚配布。

				<p>新たな遺産の掘り起こしと、認定された遠野遺産について検証しながら文化的資源の保護・継承と地域づくりを推進していく。</p>
総括	<p>概ね目標としていた数値には達成された。文化を継承していくための次世代人材育成と重要文化財千葉家住宅修理・活用など、長期にわたる大規模事業に対する予算措置、進行管理が重要である。</p>			
評価委員の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野「語り部」1,000人プロジェクト事業について、認定を受けた方々の活動の場を検討し、活動を宣伝して、1,000人に達する方向で積極的に取り組んでいただきたい。 ・遠野遺産のパンフレットはととても見やすくいいと思います。 			

主要事業点検・評価

基本方針	4 健康づくりの推進			
施策	(1) 健康づくり総合プログラムの推進			
施策区分	主な事業	主な取組状況 (事業内容を記入)	評価	成果と課題 (成果及び課題を記入)
① 健康づくり総合プログラムの推進	健康づくり教室 ・本校 ・サテライト校 ・とすぼ大学祭	遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」による健康づくり教室を本校（市民センター）、サテライト校（地区センター）と位置づけ定期的に実施し健康の増進、意識付けを行った。	達成	健康づくり教室の開催 ・本校 112回 延べ1,118人 ・サテライト校 58回 延べ720人 ・とすぼ大学祭 1回 100人
	子供の体力アップ ・チャレンジ体力アップ（児童） ・キッズ元気アップ応援隊（幼児）	小学校の体力づくりの一環として取組み（目標を各小学校にて設定）、運動能力の向上に努めた。 また、就学前の子どもたちに「キッズ元気アップ応援隊」として講師を派遣し、リズム体操、体力アップなど運動することの楽しさを伝えた。		子どもの体力アップ ・チャレンジ体力アップ 小学校11校 1,309人 ・キッズ元気アップ応援隊 保育所等14ヶ所 1,594人
② スポーツの振興	遠野じんぎすかんマラソンの開催 スポーツ団体運営支援補助	遠野じんぎすかんマラソンを8月31日に開催し、スポーツの推進及び市街地の活性化と賑わい創出に寄与した。また、遠野市体育協会及びスポーツ少年団本部へ運営補助し、競技スポーツ・少年スポーツの推進、技術向上に努めた。	達成	遠野じんぎすかんマラソン 参加者 1,350人 スポーツ少年団全国大会出場 6単位団
	日本マレットゴルフ選手権大会支援	日本マレットゴルフ協会主催による第10回文部科学大臣賞日本マレットゴルフ選手権大会が遠野市で開催され、運営に要する経費を補助した。		日本マレットゴルフ選手権大会 133名参加 全国各地から多数の参加をいただき、郷土芸能を披露するなど交流も図られた。
	ジュニアサッカーレベルアップ事業	ジュニアサッカーのレベルアップ向上に資するため、サッカー教室開催のための運営に補助した。		ジュニアサッカーレベルアップ事業 1団体
総括	<p>年々子どもの数が減少傾向となり、これに伴い運動する習慣（環境）も変化してきている。楽しく運動できる機会を継続して提供していくことが重要である。</p> <p>また、スポーツ競技全体のレベルアップは基より、生涯スポーツの推進を図りながら健康の増進にも努めていきたい。</p>			
評価委員の意見等	・特になし			

< その他附属資料 >

資料1 平成26年度主要な施策の成果説明

資料2 平成26年度総合計画後期基本計画まちづくり指標実績

平成 26 年度主要な施策の成果説明 (42 事務事業)

衛 生 費	1
◆健康スポーツプログラム推進事業費	1
教 育 費	2
◆地域教育文化振興事業費	2
◆私立幼稚園就園奨励事業費	2
◆外国人講師招へい事業費	3
◆特色ある学校づくり事業費	3
◆平成・南部藩寺子屋交流事業費	4
◆特別支援教育推進事業費	4
◆遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	5
◆いわての復興教育学校支援事業費	5
◆学力向上対策事業費	6
◆育英事業費	6
◆通学対策費	7
◆教材整備費	7
◆就学援助費	8
◆学力向上学校教材等充実事業費	8
◆プール改修事業費	9
◆附馬牛小学校整備事業費（繰越明許費）	9
◆綾織小学校改築整備事業費（繰越明許費）	10
◆通学対策費	10
◆教材整備費	11
◆就学援助費	11
◆遠野中学校改築整備事業費	12
◆プール改修事業費	12
◆遠野中学校屋内運動場改築整備事業費	13
◆遠野中学校改築整備事業費（継続費）	13
◆遠野東中学校整備事業費（繰越明許費）	14
◆遠野西中学校整備事業費（繰越明許費）	14
◆生涯学習のまちづくり推進費	15

◆芸術文化振興事業費	16
◆都市交流推進事業費	17
◆遠野「物り部」1000人プロジェクト事業費	17
◆遠野文化調査研究費	18
◆図書館費	19
◆博物館費	19
◆ブックスタート事業費	20
◆遠野市立博物館映像等整備事業費	20
◆埋蔵文化財発掘調査費	21
◆遠野遺産認定事業費	21
◆旧菊池家住宅茅葺屋根改修事業費	22
◆重要文化財千葉家住宅整備事業費	22
◆競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	23
◆学校給食事業費	24

04款 衛生費		01項 保健衛生費		03目 健康づくり推進事業費	
事業名 健康スポーツプログラム推進事業費					単位：円
事業内容	1 遠野市健康づくり総合大学「とすば」による健康づくり教室を本校（市民センター）及びサテライト校（地区センター）で実施し、定期的に運動する機会を提供することで、健康増進・意識付けを図る。			計 画 値	健康づくり教室 本校 96回 サテライト校 54回 とすば大学祭 1回
	2 子供の体力、運動能力の向上を目指すとともに、運動する習慣付けを図る。				チャレンジ体力アップ 11校 キッズ元気アップ応援隊 13カ所
成果	1 遠野市健康づくり総合プログラムの健康づくり教室を実践し、継続的に教室を開催することで、健康増進を図るとともに、健康づくりへの意識付けを行なった。			実 績 値	健康づくり教室 本校112回、延べ1,118人 サテライト校58回、 延べ720人 とすば大学祭1回、100人
	2 小学校の体力づくりの一環として「チャレンジ体力アップ」を全小学校で取り組み、運動能力の向上に努めた。 就学前の子どもたちには、「キッズ元気アップ応援隊」として保育園等に講師を派遣し、リズム体操、体力アップなど運動することの楽しさを伝えた。				チャレンジ体力アップ 小学11校、1,309人 キッズ元気アップ応援隊 保育所等14カ所 1,594人
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4,181,000	3,305,850	0	0	617,800	2,688,050

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					地域教育文化振興事業費	単位：円
事業内容	1 学校・PTA・地域が連携し、地域で家庭教育等を推進するための組織「地域教育協議会」の事業を支援するため補助金を支出する。			計	家庭教育ゼミナール開催 12回	
	2 家庭教育を推進するための講演会へ支援する。				家庭教育ゼミナール参加者 950人	
成果	1 地域教育協議会に補助金を支出し、伝統文化継承や世代間交流、読書活動推進等、地域の特性を活かした地域教育活動を支援した。			実績	地域教育協議会 11団体	
	2 「家庭教育ゼミナール」を市内13会場で実施。情報モラルやメディアの利用方法、子どもの健康・体力づくり、命に関する講演など、多岐に亘る講演会等を実施し、保護者等の家庭教育力向上に努めた。				家庭教育ゼミナール 13回 家庭教育ゼミナール参加者 1,358人	
成果	3 地域で取り組まれている実践活動について、市内2地域と教育委員会から事例発表をする「地域で子どもを育てる活動発表会」と「家庭教育講演会」を同時に開催。地域での取り組みの事例発表や講演会を実施し、子育てへの理解や学校・地域活動の活性化を図ることができた。			実績	地域で子どもを育てる活動 発表会・家庭教育講演会 1回、200人参加	
	予算額	決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
	766,000	713,218	320,000	0	0	393,218

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					私立幼稚園就園奨励事業費	単位：円
事業内容	私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じ、幼稚園設置者が保育料等を減免した場合に国から1/3以内の補助を受けて就園奨励する。			計画	補助金対象園児数 79人	
	成果	私立幼稚園の園児87人のうち79人が対象となり、入園料及び幼稚園保育料を対象とした助成を行ったことにより、保護者の経済的負担を軽減した。			補助金対象園児数 79人	
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,893,000	10,504,400	2,758,000	0	0	7,746,400

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費				
事業名					外国人講師招へい事業費	単位：円			
事業内容	「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。 小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手の派遣を受ける。			計	派遣学校数	14校			
				画	派遣回数	200回 (小学校110回、中学校90回)			
成果	外国語指導助手の生きた英語に触れることで、児童生徒が言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地及び基礎を養うことができた。			実	派遣学校数	14校			
				績	派遣回数	178回 (小学校89回、中学校89回)			
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳
						国	県	支	出
						金			
						地	方	債	
						そ	の	他	
						一	般	財	源
	5,184,000		4,536,000			0		0	0
									4,536,000

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費				
事業名					特色ある学校づくり事業費	単位：円			
事業内容	「知・徳・体」の全てに位置付けて実施する事業。 児童生徒一人一人の学習・生活の基礎力の充実及び個性と能力の伸長に努め、生命と体と心を育む教育の具現化を図るため、市内各小中学校ではそれぞれ企画・立案した事業計画をもとに地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計	実施学校数	14校			
				画					
成果	平成26年度も市内全ての小中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動が積極的に展開された。 講師を務める地域住民を通して、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで児童生徒のふるさとへの愛着と誇りをもつ心が着実に育まれている。			実	実施学校数	14校			
				績					
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳
						国	県	支	出
						金			
						地	方	債	
						そ	の	他	
						一	般	財	源
	1,437,000		1,258,485			0		0	0
									1,258,485

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		平成・南部藩寺子屋交流事業費				単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 根城南部氏の縁でつながる青森県八戸市の児童と、相互訪問による交流活動を行う。</p> <p>日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団生活のあり方や公衆道徳などの体験を積むことにより、郷土を愛し将来を担う人材の育成を図る。</p>			計画値	参加児童 小学6年生26人		
	成果	<p>各小学校を代表する児童が遠野市の代表として活動することで、リーダーとしてあるべき行動を学ぶことができた。</p> <p>また、ふるさとを改めて見つめる機会を持ち、ふるさとの素晴らしさ、地域のつながりやきずなに気付くことで、遠野の将来を担う児童の育成につなげることができた。</p> <p>1 受入交流 7月28日から7月30日まで 八戸市児童47人が来遠</p> <p>2 派遣交流 8月2日から8月3日まで 遠野市児童26人が八戸市を訪問</p>			実績値	参加児童 小学6年生26人	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
915,000	794,300	0	0	0	794,300		

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費		
事業名		特別支援教育推進事業費				単位：円	
事業内容	<p>「知・徳・体」の「知」に位置付けて実施する事業。</p> <p>市内小中学校の通常学級に在籍し、個別に特別な支援を必要とする児童生徒の学校生活における介助及び学習活動における支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員を配置する。</p> <p>また、要支援児童生徒に対する指導の充実を図るため、巡回指導を行う学習指導講師を配置する。</p>			計画値	特別支援教育支援員の配置 16人		
	成果	<p>1 特別支援教育支援員が児童生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。</p> <p>【配置校数 小学校11校、中学校3校】</p> <p>2 学習指導講師が巡回指導を行うことで、児童のニーズに応じた適切な指導を提供することができた。</p> <p>【巡回指導実施数 5校、14人】</p>			実績値	特別支援教育支援員の配置 16人	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
17,502,000	17,071,507	0	0	0	17,071,507		

10款 教育費		01項 教育総務費		02目 事務局費		
事業名 遠野わらすっこ「夢の教室」事業費					単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人日本サッカー協会が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役スポーツ選手、そのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。			計画値	実施校数 5校 実施回数 7回	
	成果	JリーガーOBなどの「夢先生」らによる、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行った。 「夢の教室」後に、児童たちが夢先生の話に素直に感動し、夢について友達と語り合い、真剣に考える姿があった。			実績値	実施校数 5校 実施回数 7回
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,338,000	960,732	0	0	960,000	732	

10款 教育費		01項 教育総務費		02目 事務局費		
事業名 いわたの復興教育学校支援事業費					単位：円	
事業内容	「知・徳・体」の「徳」に位置付けて実施する事業。 いわての復興教育「郷土を愛し、その復興・発展を支える人材を育成するために、各学校の教育活動を通して、3つの教育的価値（『いきる』『かかわる』『そなえる』）を育てること」に取り組む事業。 岩手県から復興教育推進校として指定を受けた学校が主体的に行う復興教育に関する多様な取り組みに対して支援を行い、その結果得られた成果等について各学校に還元する。			計画値	復興教育推進校 2校	
	成果	市内の小中学校から各1校が復興教育推進校の指定校に選定され、東日本大震災の被災者体験や、その後の復興に関わるボランティア活動等の貴重な体験を通じて、自らの生命『いきる』や他者との絆『かかわる』の大切さを学んだ。 また、自分たちが暮らしている地域の危険な場所を理解することにより、身近にある災害に対する防災意識の向上『そなえる』が図られた。 【復興教育推進校】 上郷小学校、遠野東中学校			実績値	復興教育推進校 2校
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
600,000	401,195	400,000	0	0	1,195	

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費	
事業名					学力向上対策事業費	単位：円
事業内容	<p>「知・徳・体」のうち「知・徳」に関する事業。 児童生徒等の学校生活に関する教育相談等の担当として、教育相談員を配置する。</p> <p>市内小中学生（小2～中3）を対象にして、標準学力検査（NRT）及び知能検査を実施する。その結果をもとに各中学校区で研究部会を開催し、課題に向けての調査、研究及び発表を行い、各学校へ還元する。</p> <p>教育課程に関する実践研究を行い、その成果は学校公開の場で発表し、その成果を市内小中学校へ還元する。</p>			計 画 値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>教育相談員の配置 4人</p> <p>教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>学校公開研究会の実施 3校 各1回</p>	
	成果	<p>中学校区ごとの授業改善のための「2つの視点」に基づき、小中学校が連携した授業改善を図り、教員の「一人一授業」に取り組んだ。</p> <p>市内3校において学校公開研究会を開催したほか、1月には研究成果を中学校ごとに発表し合い、市内全教職員で学力向上に係る方向性を共有した。</p> <p>遠野市教育研究所内及び市内3中学校に教育相談員を配置し、生徒や保護者の教育相談を通して不安や悩みを解消し、学校生活の意欲化が図られている。</p>			実 績 値	<p>標準学力検査及び知能検査の実施 1回</p> <p>教育相談員の配置 4人</p> <p>教育研究発表会等の開催 2回</p> <p>学校公開研究会の実施 3校 各1回</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
11,106,000	9,957,255	0	0	0	9,957,255	

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費	
事業名					育英事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例第88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難なものに対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p>			計 画 値	<p>新規奨学生採用数</p> <p>大学生等 30人</p> <p>高校生 5人</p> <p>継続奨学生数</p> <p>大学生等 61人</p>	
	成果	<p>新規奨学生の募集を行い、新たに28人（当初募集26人、追加募集2人）の奨学生を決定し、継続貸与者58人と合わせて86人に奨学金を貸与し、有能な人材育成に努めた。</p> <p>なお、自己都合等により5人（年度当初3人、年度途中2人）の奨学生から貸与辞退の申し出があった。</p> <p>貸付状況 新規大学生等 13,120,000円 継続大学生等 27,600,000円 計 40,720,000円</p>			実 績 値	<p>新規奨学生採用数</p> <p>大学生等 28人</p> <p>継続奨学生数</p> <p>大学生等 58人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
40,940,000	40,813,228	0	0	40,494,316	318,912	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。</p> <p>1 小友小学校、土淵小学校、附馬牛小学校、宮守小学校、達首部小学校、鱒沢小学校に通学する児童を対象に、スクールバス・スクールワゴンを行う。</p> <p>2 遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に、路線バスを利用した児童送迎を行う。</p> <p>3 青笹小学校中沢地区及び上郷小学校来内地区の児童の一部を対象に、スクールタクシーを運行する。</p> <p>4 遠距離（4 km以上）から通学する児童を対象に、通学費の助成を行う。</p> <p>5 教育課程における児童移動のためのスクールバスを運行する。</p>			計	<p>スクールバス、ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託）</p> <p>遠距離通学費補助金対象児童 25人</p> <p>スクールバス・ワゴン更新</p>	
	成果	<p>遠距離から通学する児童のためスクールバス等を運行し通学の負担の軽減を図るとともに、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離児童に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p> <p>また、附馬牛小学校スクールワゴン及び鱒沢小学校スクールバスの更新を行い、安全対策を図った。</p>			実績	<p>スクールバス、ワゴン等の運行（バス6台、ワゴン3台、タクシー2台、路線バス委託）</p> <p>遠距離通学費補助金対象児童 23人</p> <p>スクールバス・ワゴン更新 2台</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
32,771,000	32,000,361	2,570,000	6,100,000	0	23,330,361	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					教材整備費	単位：円
事業内容	<p>教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。</p> <p>また、実験や観察に必要な理科実験器具の購入及び更新整備を図る。</p>			計	<p>教材備品購入</p> <p>図書購入</p> <p>パーソナルコンピュータ等借上げ</p> <p>理科備品購入 5校</p>	
	成果	<p>教育活動に必要な教材備品の購入や言語活動や読書活動の充実を図るための図書購入、情報教育の推進を図るためにパーソナルコンピュータ等を借上げ、教育環境の整備充実を図った。</p> <p>また、学習指導要領の改訂に即した理科教育の観察や実験に必要な実験器具の購入整備に努めた。</p> <p>【理科備品の主な整備内容】</p> <p>遠野小学校：顕微鏡等、遠野北小学校：解剖顕微鏡等</p> <p>綾織小学校：光のまとあてセット等、小友小学校：鉄製スタンド</p> <p>鱒沢小学校：デジタル気体チェッカー等</p>			実績	<p>教材備品購入</p> <p>図書購入</p> <p>パーソナルコンピュータ等借上げ</p> <p>理科備品購入 5校</p>
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
16,488,000	16,440,491	750,000	0	50,000	15,640,491	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費																									
事業名					就学援助費	単位：円																								
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>【項目】 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、通学費、児童会費、クラブ活動費、修学旅行費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費、学校給食費</p>			計 画 値	支給見込児童数 156人																									
	成果	<p>就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>【項目及び内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>学用品費（141人）</td> <td>1,568,347円</td> <td>通学用品費（128人）</td> <td>277,264円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費（141人）</td> <td>299,042円</td> <td>新入学用品費（13人）</td> <td>266,110円</td> </tr> <tr> <td>通学費（1人）</td> <td>3,200円</td> <td>児童会費（1人）</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費（34人）</td> <td>724,454円</td> <td>PTA会費（103人）</td> <td>341,940円</td> </tr> <tr> <td>学校病医療費（38人）</td> <td>399,510円</td> <td>学校病医療通院費（14人）</td> <td>9,920円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費（140人）</td> <td>5,941,272円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>上記のうち被災児童14人分については、被災児童生徒就学援助事業費補助金(10/10)により 946,000円が交付された。</p>			学用品費（141人）	1,568,347円	通学用品費（128人）	277,264円	校外活動費（141人）	299,042円	新入学用品費（13人）	266,110円	通学費（1人）	3,200円	児童会費（1人）	200円	修学旅行費（34人）	724,454円	PTA会費（103人）	341,940円	学校病医療費（38人）	399,510円	学校病医療通院費（14人）	9,920円	学校給食費（140人）	5,941,272円			実 績 値	支給児童数 143人
学用品費（141人）		1,568,347円	通学用品費（128人）	277,264円																										
校外活動費（141人）	299,042円	新入学用品費（13人）	266,110円																											
通学費（1人）	3,200円	児童会費（1人）	200円																											
修学旅行費（34人）	724,454円	PTA会費（103人）	341,940円																											
学校病医療費（38人）	399,510円	学校病医療通院費（14人）	9,920円																											
学校給食費（140人）	5,941,272円																													
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳																												
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																									
10,375,000	9,831,259	1,162,000	0	0	8,669,259																									

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					学力向上学校教材等充実事業費	単位：円
事業内容	<p>平成27年度からの小学校使用教科書の改訂に伴い、教員の指導力を向上させ児童の学力向上に資することを目的に、教師用指導書及び指導資料等を購入する。</p>			計 画 値	児童の学力の向上 (前期分) 指導書 765冊 指導資料 125点	
	成果	<p>平成27年度教科書改訂後の小学校教師用指導書及び指導資料等を購入し、児童の学力向上及び教員の指導力向上のための資料整備を図った。 なお、後期分の教師用指導書等の発刊及び販売が平成27年7月以降となることから、平成27年度に6,017,000円を繰り越して整備を図る。</p> <p>小学校教師用指導書（前期分） 765冊 小学校教師用指導資料 125点</p>			実 績 値	【上巻整備】 指導書 765冊 指導資料 125点
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
18,894,000	12,876,057	0	0	0	12,876,057	

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費		
事業名		プール改修事業費				単位：円	
事業内容	老朽化したプール設備を更新し、児童が安全に、かつ安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。			計画値	綾織小学校ろ過器更新工事		
	事業計画に基づき、綾織小学校プールろ過器の更新工事を行い、教育環境の整備を図った。				綾織小学校ろ過器更新工事		
成果				実績値			
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
7,884,000	7,884,000	0	7,800,000	0	84,000		

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費		
事業名		附馬牛小学校整備事業費（繰越明許費）				単位：円	
事業内容	附馬牛小学校校舎の老朽化及び平成25年3月に閉校した旧附馬牛中学校校舎の跡地活用を図るため、小学校校舎に改修し、教育環境の整備及び児童の安全を図る。 平成25年度において国の補正予算により補助金交付が決定したことから、事業予算を前倒して計上し26年度に繰り越した。			計画値	工事監理業務委託 大規模改造工事 備品購入		
	実施設計に基づき校舎改修が平成27年1月に完了し、3学期の始業式から新校舎での授業を開始した。 新校舎は、階段の蹴り上げ面などを小学校仕様に変更したほか、階段やバルコニーへの手すりの設置及び隙間の間隔を詰めるなどの安全対策を講じたほか、校舎の照明を全てLED照明とし節電及び長寿命化を図った。 【校舎概要】 木造2階建 1,563,74㎡				工事監理業務委託 大規模改造工事 備品購入		
成果				実績値			
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
137,355,000	135,364,003	39,890,000	73,100,000	0	22,374,003		

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					単位：円	
綾織小学校改築整備事業費（繰越明許費）						
事業内容	平成25年度に大規模改造工事を行った特別教室棟で使用する備品購入を行い、教育環境の整備を図る。 備品調達に時間を要したことから、平成26年度に繰り越した。			計画値	備品購入	
	成果	特別教室棟で使用する備品を購入するとともに、平成27年度から新たに設置される特別支援学級に対応するため、多目的ホールの一部に仕切り壁を設置し、教育環境の整備に努めた。			実績値	備品購入 カーテン、机、椅子、マット等 特別支援学級仕切り設置工事
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,790,000	3,756,260	0	0	0	3,756,260	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					単位：円	
通学対策費						
事業内容	遠距離から通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 1 遠野中学校に通学する綾織小学校学区及び附馬牛小学校学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 2 遠野東中学校に通学する土淵小学校学区及び上郷小学校学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 3 遠野西中学校に通学する小友小学校学区、達曽部小学校学区及び鱒沢小学校学区の生徒を対象に、スクールバス等を運行する。 4 遠距離（6 km以上）から通学する生徒を対象に、通学費の助成を行う。 5 教育課程における生徒移動のためのスクールバスを運行する。			計画値	スクールバス等の運行 遠野中学校 6台 遠野東中学校 6台 遠野西中学校 6台 遠距離通学費補助対象生徒 15人	
	成果	遠距離から通学する生徒のためスクールバス等を運行し通学の負担の軽減を図るとともに、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離生徒に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。			実績値	スクールバス等の運行 遠野中学校 6台 遠野東中学校 6台 遠野西中学校 6台 遠距離通学費補助対象生徒 6人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
50,014,000	47,985,094	0	0	0	47,985,094	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費
事業名 教材整備費					単位：円
事業内容	教育活動に必要な教材備品及び図書の購入、パーソナルコンピュータの借上げを行い、教育環境の整備に資する。 また、実験や観察に必要な理科実験器具の購入及び更新整備を図る。			計	教材備品購入 図書購入 パーソナルコンピュータ等借上げ 理科備品購入 1校
	成果	教育活動に必要な教材備品の購入や言語活動や読書活動の充実を図るための図書購入、情報教育の推進を図るためにパーソナルコンピュータ等を借上げ、教育環境の整備充実を図った。 また、学習指導要領の改訂に即した理科教育の観察や実験に必要な実験器具の購入整備に努めた。 【理科備品の主な整備内容】 遠野中学校：天体望遠鏡、鉄製スタンド等			実績
予算額		決算額	財源内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
8,387,000	7,860,621	250,000	0	50,000	7,560,621

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費
事業名 就学援助費					単位：円
事業内容	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。 【項目】 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費、通学費、生徒会費、クラブ活動費、修学旅行費、PTA会費、学校病医療費、学校病医療通院費、学校給食費			計	支給見込生徒数 97人
	成果	就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。 【項目及び内訳】 学用品費（88人） 1,941,840円 通学用品費（57人） 125,437円 校外活動費（88人） 199,880円 新入学用品費（30人） 706,500円 通学費（2人） 1,600円 生徒会費（88人） 191,000円 クラブ活動費（86人） 1,879,526円 修学旅行費（32人） 2,483,732円 PTA会費（76人） 179,940円 学校病医療通院費（1人） 400円 学校病医療費（9人） 141,390円 学校給食費（88人） 4,360,810円 上記のうち被災生徒4人分については、被災児童生徒就学援助事業費補助金(10/10)により 521,000円が交付された。			実績
予算額		決算額	財源内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
13,006,000	12,212,055	694,525	0	0	11,517,530

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費		
事業名		遠野中学校改築整備事業費				単位：円	
事業内容	老朽化した遠野中学校校舎の建て替えを行い、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。			計画値	夜間照明設置工事 備品購入		
	【26年度事業の概要】 校舎改築工事に伴い撤去した夜間照明2基の復旧工事 校舎改築工事に伴い必要となる管理備品購入						
成果	クラブ活動及び一般開放事業に資するため、LEDの夜間照明施設を設置し屋外活動施設の整備を図るとともに、節電及び長寿命化に努めた。 また、音楽室及び多目的ホールで使用する机や椅子等の備品を購入し、教育活動の環境整備に努めた。			実績値	夜間照明設置工事 2基 備品購入 机・椅子・カーテン等		
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
15,333,000	14,754,368	0	0	0	14,754,368		

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費		
事業名		プール改修事業費				単位：円	
事業内容	老朽化したプール設備を更新し、生徒が安全に、かつ安心して水泳実習を受けることができる環境を整備する。			計画値	遠野西中学校プール改築設計業務		
	【事業の年次計画】 平成26年度 遠野西中学校プール改築実施設計業務委託 平成27年度 遠野西中学校改築工事						
成果	遠野西中学校プール改築にあたり、学校の意見を取り入れ生徒の動線や施設管理が効率的に行えるような実施設計を作成した。			実績値	遠野西中学校プール改築設計業務		
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
4,320,000	4,320,000	0	4,300,000	0	20,000		

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費															
事業名					遠野中学校屋内運動場改築整備事業費	単位：円														
事業内容	遠野中学校屋内運動場は築後23年が経過し、外部には錆、内部には複数箇所の雨漏りや内装の傷み、衛生設備の不具合等劣化が進んでいるほか、天井材の落下や観客席手すりに対する安全対策等が必要であることから、施設の改修を行い、教育環境の整備を図る。			計画値	改修設計業務委託															
	【事業の年次計画】 平成26年度 改修設計業務委託 平成27年度 改修工事及び工事監理業務																			
成果	改修工事を行うに当たり、必要な補修や劣化対策及び安全性の向上対策、節電及び長寿命化を図るためのLED照明の導入等を踏まえた改修設計を作成した。			実績値	改修設計業務委託															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費															
事業名					遠野中学校改築整備事業費（継続費）	単位：円														
事業内容	老朽化した遠野中学校校舎の改築工事（第2期）に着手し、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。			計画値	校舎改築（第2期） 工事監理業務 旧校舎解体工事 仮設渡り廊下撤去工事															
	【事業の概要】 第2期改築工事（平成25年12月から平成26年8月まで） 多目的教室棟 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建 953.36㎡ 渡り廊下 鉄筋コンクリート造 29.25㎡ 旧校舎解体工事 R C造2階建 543.64㎡																			
成果	平成25年からの継続工事として、多目的ホール及び音楽室、校舎と屋内運動場を繋ぐ渡り廊下が完成し、2学期から授業やクラブ活動に活用されている。 平成23年度からの4カ年に渡る校舎改築整備が完了となり、遠野中学校の教育環境整備が図られたとともに、旧校舎の解体をもって市内の学校施設の耐震化率が100%となった。			実績値	校舎改築（第2期） 工事監理業務 旧校舎解体工事 仮設渡り廊下撤去工事															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野東中学校整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	倉庫・駐輪場建設工事を行い、教育環境の充実を図る。 なお、再生可能エネルギー設備導入事業を活用し、倉庫・駐輪場の屋根に太陽光パネルを積載し、災害時の電力確保及び平常時の節電を図る。 太陽光パネルの設置にあたり、支柱等の仕様変更が生じ発注に時間を要したことから、平成26年度に繰り越した。			計画値	倉庫・駐輪場建設工事 太陽光パネル及び蓄電池設置工事（環境課事業）	
	倉庫建築により、屋外の環境整備備品や体育用具等の適切な保管管理を行い、教育環境の整備に努めた。 また、太陽光パネル及び蓄電池の設置により環境教育の推進を図るとともに、非常時に最低限必要となる電力を確保できる環境を整備した。（環境課事業） 【整備内容】 倉庫・駐輪場 鉄骨造平屋 91.41㎡ 太陽光パネル 10.78kw 蓄電池4.8kwh				実績値	倉庫・駐輪場建設工事 太陽光パネル及び蓄電池設置工事（環境課事業）
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
8,123,000	7,353,720	0	0	0	7,353,720	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野西中学校整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	中学校再編成後の教育環境の整備及び市内中学校3校の教育環境の均一化を図るため、多目的教室及び夜間照明施設を整備し教育活動の充実を図る。 平成25年度において国の補正予算により補助金交付が決定したことから、事業予算を前倒して計上し26年度に繰り越した。			計画値	工事設計業務委託 工事監理業務委託 多目的教室改修工事 夜間照明設置工事 備品購入	
	卓球部の部活動や学年集会等多用途に活用できる多目的教室棟の整備及び夕暮れ時のクラブ活動における安全確保を図るため夜間照明施設を設置し、教育環境の整備に努めた。 【整備内容】 多目的教室棟 鉄骨造 299㎡ 渡り廊下 " 43.1㎡				実績値	工事設計業務委託 工事監理業務委託 多目的教室改修工事 夜間照明設置工事 6基 備品購入 調光操作卓等
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
74,617,000	72,986,984	12,658,000	53,000,000	0	7,328,984	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費															
事業名					生涯学習のまちづくり推進費	単位：円														
事業内容	1 各地区センターで開催する学級講座等開催経費。 2 生涯学習事業や芸術振興事業について業務委託を実施し、民間活力を活かした事業の充実を図る。				1 各地区センター受講者 2,410人 2 業務委託の実施	計 画 値														
	成果	1 各地区センターで手芸や料理等の手づくり講座など、地域のニーズ把握に努め、各種講座を開催した。 2 生涯学習講座、芸術振興事業に関し業務委託を実施し、民間活力を活かした事業の充実を行った。 (1) 生涯学習講座 IT講座、郷土理解講座、絵画教室等 42回開催 延べ 828人 青少年活動サポート事業 少女少女ふるさと発見探偵団 6回開催 延べ 315人 囲碁・将棋教室 8回開催 延べ 176人 (2) 芸術振興事業 狂言風オペラ遠野公演(4月28日) 鑑賞者 760人 栗コーダーカルテット(7月21日) 鑑賞者 266人 遠野市民センターパレエスタジオ 第37回発表会 参加者82人 鑑賞者 463人 遠野青少年少女合唱隊 第25回発表会 参加者54人 鑑賞者 68人				1 各地区センター受講者 2,351人 2 業務委託の実施	実 績 値													
予		算	額	決	算	額	財	源	内	訳										
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		38,141,000		36,432,219		0		0		8,205,300						28,226,919				

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費															
事業名					芸術文化振興事業費	単位：円														
事業内容	1 市民センター自主事業に対し補助金を交付する。 2 芸術文化団体へ支援を行い、活動発表等による芸術文化の高揚を図る。 3 市民協働による活動発表の場を提供する。				芸術文化協会加盟団体の自主事業数 13回 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,950人 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 8,750人	計 画 値														
	成果	1 市民センター自主事業に対する補助 狂言風オペラ遠野公演（4月28日） 鑑賞者 760人 2 芸術文化団体へ支援を行い、活動発表等を実施した。 （1）第9回遠野市民芸術祭（10月19日、11月2日、3日） 合同茶会、舞台合同発表会、総合展示会、菊花展 参加者653人、鑑賞者2,570人 （2）芸術文化協会等主催事業 大ホール3回 参加者230人、鑑賞者1,500人 中ホール3回 参加者90人、鑑賞者840人 みやもりホール4回 参加者150人、鑑賞者600人 その他会場5回 参加者162人、鑑賞者600人 3 市民協働による活動発表の提供 第40回市民の舞台遠野物語ファンタジー「でんでらばらだいす」開催 2月21日、22日の3回公演 参加者350人 鑑賞者2,125人				芸術文化協会加盟団体の自主事業数 15回 市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,285人 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 8,995人	実 績 値													
予		算	額	決	算	額	財	源	内	訳										
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		9,691,000			9,296,201			0					0		2,755,000					6,541,201

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費													
事業名					都市交流推進事業費	単位：円												
事業内容	1 武蔵野市との児童交流を行い、それぞれの地域特性を生かした体験によるひとづくり、まちづくりを進める。			計 画 値	武蔵野市児童交流派遣 小学生 20人 引率者 4人													
	2 サレルノとの姉妹都市交流を通じ、市民の国際理解と国際協力の高揚を図る。				サレルノ姉妹都市交流 50人派遣													
成果	1 武蔵野市とは隔年で受入事業と派遣事業を相互に行っており、平成26年度は武蔵野市への派遣事業を実施した。事業を通じ、地域性の違いや相互の生活様式を理解し交流を深めた。 実施日：10月11日～13日（2泊3日）			実 績 値	武蔵野市児童交流派遣 小学生 19人 引率者 4人													
	2 姉妹都市締結30周年を記念した、サレルノ市への市民訪問ツアーを実施した。 内容：30周年記念セミナー、遠野市親善大使の任命等 実施日：6月25日～7月2日（7泊8日）				サレルノ姉妹都市交流 51人派遣													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
				0		0		0		4,573,460								

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費													
事業名					遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	単位：円												
事業内容	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置付ける。「昔話」「食」「郷土芸能」「歴史」「生業」の5ジャンルの「語り部」を育成し、遠野のにぎわい創りのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献する。			計 画 値	語り部認定者数(累計) 700人													
	平成26年度の認定者数98人(昔話3人、子ども語り部81人、歴史8人、郷土芸能4人、生業2人)で、累計者数は710人となった。昨年よりスクーリング数を増やしたことにより認定者数が昨年比3倍となり、計画値を超えることができた。 また、中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して、語り部を披露するなどしながら、中心市街地ののにぎわいの創出につなげることができた。				語り部認定者数(累計) 710人													
成果				実 績 値														
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳									
				国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
				0		0		0		1,421,745								

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野文化調査研究費	単位：円
事業内容	<p>遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努める。 また、フォーラムの開催や出版物の刊行などを通じて、遠野の文化の情報発信を行う。</p>			計画値	<p>遠野文化フォーラムの参加者数 130人</p> <p>遠野文化研究センターの各活動参加者数 90人</p>	
	成果	<p>遠野の文化を解明し、広く発信するため次の事業などを実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。</p> <p>1 遠野文化フォーラムの開催 開催日時：平成26年8月23・24日(土・日) 開催場所：あえりあ遠野交流ホール、遠野みらい創りカレッジ 内容：遠野文化賞表彰、遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付、遠野遺産活用事例発表、講演・シンポジウム「昔話と暴力」 参加者：400人</p> <p>2 市民講座(遠野の先人たちについて学ぶ「土曜講座」、「遠野古事記」を読む「金曜夜の読書会」、昔話教室、語り部スクーリング、遠野学会など) 開催数：36回 総参加者数：768人</p> <p>3 出版事業 遠野学叢書(宮守風土記500部、遠野の郷土芸能500部、菅沼藤左衛門扣書300部) 遠野文化フォーラム報告書 300部</p> <p>4 その他 国際交流基金との共催により、復興支援巡回写真展「東北 - 風土・人・くらし」を開催した。 開催期間：平成26年5月24日(土)～6月22日(日) 開催場所：遠野市立博物館ほか 来場者：2,261人</p>			実績値	<p>遠野文化フォーラムの参加者数 400人</p> <p>遠野文化研究センターの各活動参加者数 768人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
17,347,000	15,737,635	0	0	1,213,678	14,523,957	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名					図書館費	単位：円														
事業内容	読書普及活動と図書館の利用促進・図書館資料の収集保存・館外奉仕活動と施設貸出の利用促進・自主活動グループへの支援と育成を行う。			計	図書館の利用者数	19,100人														
					画	市民への図書貸出冊数	80,300冊													
成果	図書の貸出や図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子ども達の本に親しむ機会を増やし、読書環境を整備した。図書館教室は、市内11校で実施し、昨年度よりも参加校が増加し、図書館の利用普及が図られた。 また、職場体験学習を中高生を対象に実施し、平成26年度は新たに社会体験研修を受け入れるなど、図書館への関心を高めた。 移動図書館車を巡回し利用者の利便性を図ったほか、本の読み聞かせなど自主的に活動しているグループに館内外活動への支援として本を貸し出し、活動の支援を行った。			実績	移動図書館車の貸出冊数	10,200冊														
					画	学校図書館への貸出冊数	13,200冊													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		24,338,000		24,041,374		0		0		33,425									24,007,949	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費															
事業名					博物館費	単位：円														
事業内容	市民の学習ニーズの多様化に対応し、登録博物館として郷土の歴史・文化の調査研究、資料の収集と保存及び記録を進める。 夏季特別展「魂のゆくえ～描かれた死者たち～」や、町家のひなまつりに合わせた特別展、博物館教室等を開催し研究成果を広く市民に発信する。			計	博物館入館者数	40,500人														
					画	博物館講座等の受講者数	900人													
成果	夏季特別展「魂のゆくえ～描かれた死者たち～」や遠野町家のひなまつり開催に合わせた特別展を開催。商工会と連携し、中心市街地への集客に貢献した。児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに応えた。 1 特別展「魂のゆくえ～描かれた死者たち～」 会期 平成26年7月19日(土)～平成26年8月31日(日) 入館者数 6,070人 2 特別展「遠野のひな人形」 会期 平成27年2月10日(火)～3月22日(日) 入館者数 2,220人			実績	博物館入館者数	19,613人														
					画	博物館講座等の受講者数	944人													
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		19,348,000		18,900,847		0		0		6,366,926									12,533,921	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費					
事業名					ブックスタート事業費	単位：円				
事業内容	1歳児健康相談時に、赤ちゃんと保護者を対象に温かい子育ての時間をもつきっかけをつくるため、「ボランティアグループわらべ」による絵本の読み聞かせと、絵本とバックを配布する。			計画値	読み聞かせ回数	12回				
					対象者	200組				
成果	昨年度に引き続き、1歳児健康相談時に実施した。相談時に参加できなかった対象者には、後日、民生児童委員を通じて配布した。			実績値	読み聞かせ回数	12回				
	対象者 204組 ・1歳児健康相談時配布 125組 ・民生児童委員による配布 79組 ・計画値に対する配布率 102%（対象者に対する配布率 100%）				配布者	204組				
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳	
						国	県	支	出	
						金				
						地	方	債		
						そ	の	他		
						一	般	財	源	
	400,000		399,969			0		0	399,000	969

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費					
事業名					遠野市立博物館映像等整備事業費	単位：円				
事業内容	遠野市立博物館マルチスクリーンシアター用映像コンテンツの制作、プロジェクター等映像機器のメンテナンスを行う。 平成26年度は、博物館映像投影システムのオーバーホールを実施する。			計画値	博物館映像投影システムオーバーホールの実施					
成果	5年ごとの定期オーバーホールを実施することにより、映像機器の故障を未然に防ぎ、来館者によりよい環境で快適な映像を提供できるようになった。			実績値	博物館映像投影システムオーバーホールの実施					
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳	
						国	県	支	出	
						金				
						地	方	債		
						そ	の	他		
						一	般	財	源	
	2,268,000		2,192,400			0		0	0	2,192,400

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	緊急開発行為に伴う発掘調査、埋蔵文化財分布調査や試掘調査を実施し、その調査整理作業を行う。整理終了後には調査報告書を作成し文化財の記録保存を図る。 また、埋蔵文化財に関する普及啓発事業を実施して文化の向上に資する。			計画 画 値	埋蔵文化財調査 出土遺物整理活用 文化財教室 2回	
	成果	各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、開発行為が遺跡に該当した場合、試掘調査を行い円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護に努めた。 室内整理が完了した栃内野崎遺跡について、速報展を開催し調査成果を市民に公開した。 文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する知識の普及啓発に努めた。			実績 画 値	遺跡照会件数 120件 試掘調査件数 8件 速報展(6月～11月) 1回 文化財教室 2回 (参加者61人)
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,306,000	7,641,373	3,053,000	0	17,894	4,570,479	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し光を当て、遺産をめぐる活動を支援することにより、市内にある文化的遺産や自然遺産を市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。 活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。			計画 画 値	認定件数 公募数 ガイドブック作成 1式 標示板設置 8基 標柱等設置 8基 竿頭綬作成 3枚	
	成果	新規遺産6件(熊野神社・六角牛大権現、正一位鋳物稲荷神社、遠野郷南部田植え踊り、遠野南部流鎗馬、大峰鉾山跡とその周辺、米田の熊野神社と御神木)を認定し、累計数が141件となった。 遠野遺産表示板等の設置、郷土芸能用の竿頭綬作成、ガイドブック作成、広報遠野を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。 また、みんなで築くふるさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等(清心尼公の碑、菅原神社、遠野七観音・山谷観音、綾織駒形神社、欠ノ上稲荷神社、綾織三社神社、鱒沢四社・白石神社)が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。			実績 画 値	認定件数 6件 ガイドブック作成 3,000部 標示板設置 8基 標柱等設置 8基 竿頭綬作成 3枚
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,563,000	2,298,918	0	0	1,900,000	398,918	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					旧菊池家住宅茅葺屋根改修事業費	単位：円
事業内容	<p>土淵町（伝承園内）に所在する旧菊池家住宅は、昭和53年に小友町から現在地に移築復元された国指定重要文化財であり、移築工事以来屋根の葺き替えが行われておらず、適宜差し茅で維持してきた。</p> <p>しかしそれも限界となり、近年では屋根材の腐朽が進行して雨漏りが発生していたため、茅葺屋根の全面葺き替えを中心とした保存修理工事を実施する。</p>			計 画 値	屋根葺替工事設計監理	
					屋根葺替工事	466.54㎡
成果	<p>茅葺屋根の全面葺き替えを実施することができたほか、工事中に発見された破損箇所の修繕も併せて行った。</p> <p>屋根に使用された茅材は6,750束にのぼったが、そのうち遠野産茅を4,750束用いた。また、施工には文化財修理の経験が豊富な技術者の指導の下、地元職人も携わることで、文化財建造物の茅葺技術の向上と継承を図った。</p> <p>葺き替え中には、現場公開を行い地元土淵小学校の児童が見学して、地域の文化財保護に関する学習機会を提供し理解を深めた。</p>			実 績 値	屋根葺替工事設計監理	
					屋根葺替工事	466.54㎡
				芝棟木杵補修	0.62m3	
				野地腐朽部取替	9 m分	
				土間叩き補修	9 ㎡	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
41,074,000	41,050,113	26,614,000	13,500,000	0	936,113	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					重要文化財千葉家住宅整備事業費	単位：円
事業内容	<p>国指定重要文化財千葉家住宅の保存活用に係る基本方針を定めるため、有識者により重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を組織し、地域住民と連携を図りながら、保存活用基本構想の策定を進める。</p> <p>進入路が限られた特異な立地であるため早急に防災用道路の整備を行う。</p>			計 画 値	保存活用委員会	3回
					防災用道路測量設計	
			防災用道路工事	約200m		
成果	<p>1 保存活用基本構想の策定作業</p> <p>重要文化財千葉家住宅保存活用委員会を立ち上げ、3回の会議を開催し基本構想素案を検討した。また、市民組織である重文千葉家の活用を考える会が立ち上がり、見学会、学習会、意見交換会、アンケート調査等を協働して実施し市民及び市外からの来場者の意向を把握することができた。</p>			実 績 値	保存活用委員会	3回
	<p>2 防災用道路の整備</p> <p>設計により線形が確定したため、必要な用地買収及び樹木等の移転補償を行った。</p> <p>なお、法面処理の設計及び工事資材の調達に時間を要したことから、工事を平成27年度に繰り越して実施する。</p>				防災用道路測量設計	
			道路用地取得	72.14㎡		
			道路用地移転補償	樹木4本		
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
48,057,000	23,138,047	14,247,000	0	0	8,891,047	

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野じんぎすかんマラソン等のイベントスポーツへの参加を促進する。競技参加、応援参加、ボランティア参加など様々な形での参加を促進し、スポーツへの関わりを推進する。</p>				<p>遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,400人</p> <p>スポーツ団体運営補助 2団体</p>	計 画 値
	<p>遠野じんぎすかんマラソンを8月31日に開催し、スポーツの推進及び市街地の活性化に寄与した。沿道での応援があり、走るだけではなく、「みる・応援する」ことでのスポーツ参加もできた。</p> <p>また、遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部へ運営補助し、競技スポーツ・少年スポーツの推進、技術向上に努めた。</p> <p>日本マレットゴルフ協会主催による第10回文部科学大臣賞日本マレットゴルフ選手権大会が遠野市で開催され、運営に要する経費を補助した。大会では、全国各地から多数の参加を頂き、郷土芸能が披露されるなど交流が図られた。</p> <p>全国高校サッカー選手権大会に出場を決めた遠野高校に寄付した。</p>				<p>遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,350人</p> <p>スポーツ団体運営補助 2団体</p> <p>岩手県民体育大会出場 19種目 237人</p> <p>スキー競技 13人</p> <p>スポーツ少年団全国大会出場 6単位団</p> <p>国民体育大会出場 2種目 3人</p> <p>第10回日本マレットゴルフ選手権大会事業費補助金 500,000円</p> <p>全国高校サッカー選手権大会出場に係る寄付金 3,000,000円</p>	実 績 値
成果						
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳
						国 県 支 出 金 地 方 債 そ の 他 一 般 財 源
14,672,000	14,015,520	0	0	0	14,015,520	

10款	教育費	06項	保健体育費	02目	学校給食費
事業名		学校給食事業費			単位：円
事業内容	<p>市内小中学校の児童生徒に対し、適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図るとともに、日常生活における食事について正しい理解を深め、望ましい食習慣を養成すること等を目標として学校給食を実施する。</p> <p>学校給食の実施にあたっては、遠野産の食材を積極的に使用し地産地消を推進するとともに、安心して安全なおいしい給食の提供に努める。</p> <p>【給食実施校数】 1 年間の給食実施数 小学校 170回、中学校 168回 2 給食供給人数 2,327人</p>			計 画 値	米食回数 小学校 130回 中学校 129回 パン回数 小学校 40回 中学校 39回 学校給食食材に占める地場産物使用割合 65%
	成果	<p>平成25年4月の総合食育センターの開設により高度な衛生管理体制が構築され、多彩なメニューやアレルギー対応食等の提供が可能になった。</p> <p>P T A や学校関係者だけでなく、一般の方にも学校給食の試食の機会をつくり、試食後のアンケートをその後の学校給食提供に反映させている。</p> <p>食材にあっては、遠野産の食材を積極的に使用するよう心掛け、安全安心でおいしい給食の提供ができた。</p>			実 績 値
予算額		決算額	財 源 内 訳		
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
208,835,000	208,083,787	0	0	105,990,637	102,093,150

平成26年度総合計画後期基本計画まちづくり実績指標 (31指標)

資料No.2

大綱 2 健やかに人が輝くまちづくり 5指標

- 1 朝食を食べる子どもの割合
- 2 スポーツ施設利用者数
- 3 老人クラブ加入者数（累計）
- 4 合計特殊出生率
- 5 児童館・児童クラブ年間利用延べ人数

大綱 3 活力を創意で築くまちづくり 2指標

- 1 中学生・高校生の海外派遣数
- 2 姉妹都市への市民派遣数

大綱 4 ふるさとの文化を育むまちづくり 22指標

- 1 小学校標準学力検査偏差値
- 2 中学校標準学力検査偏差値
- 3 学習定着度状況調査（小学校）
- 4 学習定着度状況調査（中学校）
- 5 学校給食食材に占める地場産物使用割合
- 6 全講座における継続的な学習機会の割合
- 7 市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数
- 8 家庭教育講座等の延べ参加者数

- 9 芸術文化協会加盟団体の自主事業数
- 10 市民協働の芸術文化事業の参加者数
- 11 市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数
- 12 博物館入館者数
- 13 博物館講座等の受講者数
- 14 図書館の利用者数
- 15 市民への図書貸出冊数
- 16 移動図書館車の貸出冊数
- 17 学校図書館への貸出冊数
- 18 指定文化財説明板設置件数（累計）
- 19 民俗芸能の映像記録件数（累計）
- 20 遠野文化研究センター活動の参画者
- 21 遠野文化フォーラム参加者
- 22 遠野こだわりの「語り部」認定者数

大綱 5 みんなで考え支え合うまちづくり 2指標

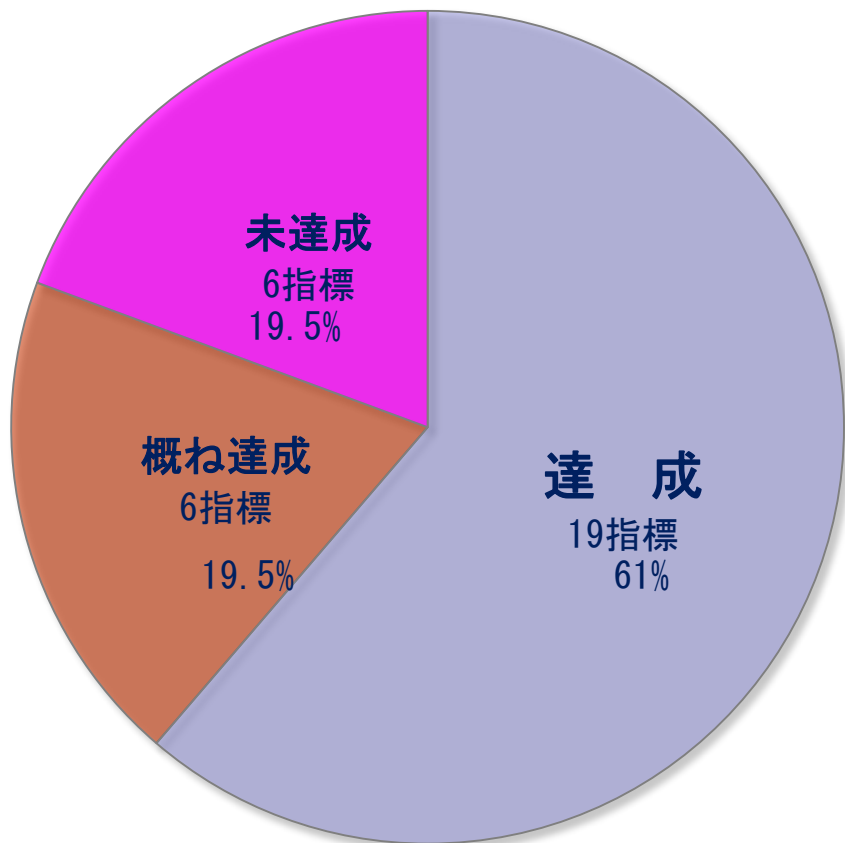
- 1 各委員、協議会の女性参画率
- 2 地域活動における女性の参画率

Point 1 まちづくり指標について

総合計画後期基本計画期間（平成23～27年度）における毎年度の段階的達成目標として、まちづくり指標を設定しています

まちづくり指標の総数は31指標
平成26年度実績は

25指標**(81%)**が概ね達成



達成

・・・ 19指標 (61%)

達成率・・・100%以上

概ね達成

・・・ 6指標 (19.5%)

達成率・・・90%以上100%未満

未達成

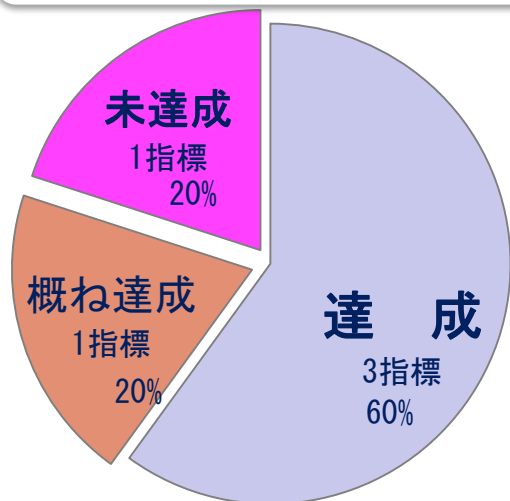
・・・ 6指標 (19.5%)

達成率・・・90%未満

Point 2

大綱別の達成状況

大綱 2 健やかに人が輝くまちづくり 5 指標



達成
3指標

- 合計特殊出生率
- 児童館・児童クラブ年間利用延べ人数
- スポーツ施設利用者（指標なし）

概ね達成
1指標

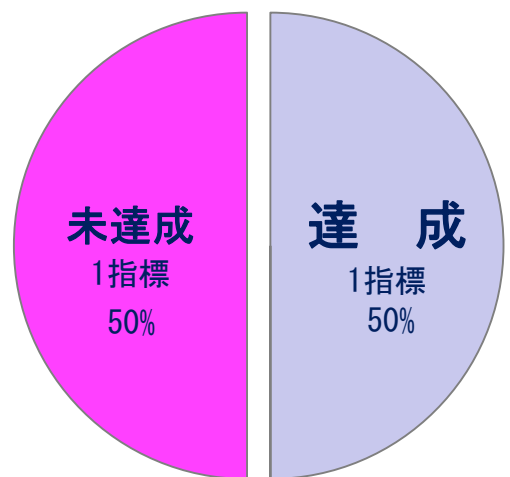
- 朝食を食べる子どもの割合

未達成
1指標

- 老人クラブ加入者数



大綱 3 活力を創意で築くまちづくり 2 指標



達成
1指標

- 姉妹都市への市民派遣数

概ね達成
-指標

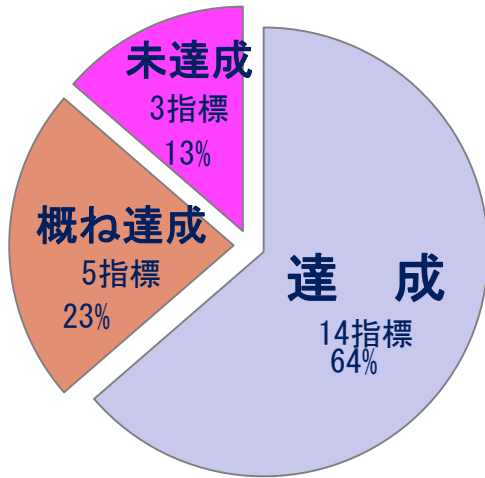
未達成
1指標

- 中学生・高校生の海外派遣数



大綱別の達成状況

大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり 22指標



達成
14指標

- 小学校標準学力検査偏差値
- 学校給食食材に占める地場産物使用割合
- 家庭教育講座等の延べ参加者数
- 博物館講座の受講者数
- 移動図書館車の貸出冊数
- 指定文化財説明板設置件数
- 遠野文化研究センター活動の参画者
- 遠野こだわりの「語り部」認定者数 ほか

概ね達成
5指標

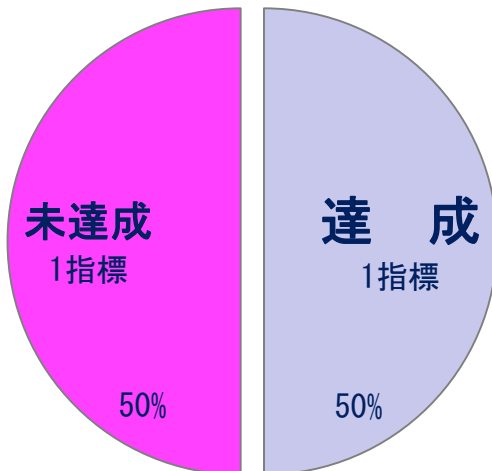
- 中学校標準学力検査偏差値
- 学習定着度状況調査（小学校、中学校）
- 市民協働の芸術文化事業の参加者数 ほか

未達成
3指標

- 博物館入館者数
- 図書館の利用者数
- 市民への図書貸出冊数



大綱5 みんなで考え支え合うまちづくり 16指標



達成
1指標

- 各委員、協議会の女性参画率

概ね達成
-指標

未達成
1指標

- 地域活動における女性の参画率



未達成6指標の分析

外的要因による未達成指標 4指標

市民等との連携や啓発等の取組が不足したなどの要因により、目標値の90%以上に届かなかった指標

◆=達成率が80%以上90%未満の指標 3指標

- ◆老人クラブ加入者数 86.3%
- ◆図書館利用者数 86.3%
- ◆市民への図書貸出冊数 81.8%

●=達成率70%以上の80%未満の指標 1指標

- 地域活動における女性の参画率 78.9%

内的要因による未達成指標 2指標

社会情勢や自然環境の変化、東日本大震災などの影響により、未達成となった指標

▼=達成率70%未満の指標 2指標

- ▼中学生・高校生の海外派遣数 64.3%
- ▼博物館入館数 48.4%

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
2 健やかに人が輝くまちづくり (5指標)	1	朝食を食べる子どもの割合	%	91.0	目標値	92.0	93.0	95.0	95.0	95.0	概ね達成	99.8	児童生徒対象の食育講座を通して朝食の大切さや子どもでもできる簡単な料理の作り方を指導したが、25年度より1.3ポイント下がった。引き続き、学校給食の栄養教諭と連携した意識啓発を行うとともに、食育講座の開催等により簡単に作れる朝食レシピの普及に努める。	総合食育推進課
				実績	95.6	93.3	96.1	94.8						
	2	スポーツ施設利用者数	人	216,509	目標値	216,600	216,700	216,800	216,900	217,000	/	/	(運動公園(多目的運動公園広場)、陸上競技場の改修工事及び市民センター体育棟の大規模改修工事により、通年使用できない施設もあった。)	生涯学習スポーツ課
				実績	215,070	193,801	181,163	—						
	3	老人クラブ加入者数(累計)	人	3,176	目標値	3,170	3,170	3,180	3,190	3,200	未達成	86.3	定年退職後の再雇用や、健康状態により老人クラブの活動に参加できない方などにより加入者の減少傾向が続いている。引き続き、老人クラブが主体となって加入促進に努める。	生涯学習スポーツ課
			実績	3,093	3,038	2,971	2,753							
4	合計特殊出生率	—	1.86	目標値	1.83	1.83	1.83	1.80	1.80	達成	105.6	<p>わらすっこプランによる事業の推進や医療費給付の中学生への拡大など、関係課と連携した子育てにやさしい環境づくりを進めたが、合計特殊出生率は前年度に比較して0.01ポイント減少した。(合計特殊出生率は県内14市中1位)</p> <p>今後も「子育てするなら遠野」をキャッチフレーズとしたわらすっこ関連事業をさらに発展させ、平成27年度まで1.80台を維持することはもとより、2.08を目指して施策を展開していく。</p> <p>※合計特殊出生率の数値は、岩手県が発表する「保健福祉年報」を適用しており、数値発表までに2年弱を要するため、左記実績値は平成25年度の数値である。</p>	子育て総合支援課	
			実績	1.85	1.91	1.90	1.90							
5	児童館・児童クラブ年間利用延べ人数	人	120,761	目標値	135,250	135,500	135,750	136,000	136,250	達成	100.7	<p>全体の延べ利用者数は前年度と比較して、641人(前年度比0.5%減)の減となったが、平成26年度の目標者数を上回った。</p> <p>児童数が減少しているなかで、目標値を上回ることができたのは、児童館として地域の文化、行事等について体験する地域交流事業や三世交代り事業など、特色ある活動に積極的に取り組んだ成果である。</p> <p>今後も、児童の健全育成の場として活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営を進める。</p>	子育て総合支援課	
				実績	132,554	135,796	137,552	136,911						
3 活力を創意で築くまちづくり (2指標)	6	中学生・高校生の海外派遣数	人	9	目標値	19	14	19	14	19	未達成	64.3	アメリカ・チャタヌーガ市へ中学生の海外派遣を実施(中学生9名)。従来、高校生を対象としたニュージーランド・クライストチャーチ市への派遣は、平成24年度以降震災の影響により中断となっている。同市や市内高校の動向を踏まえ今後の検討を行う。	生涯学習スポーツ課
				実績	9	9	9	9						
7	姉妹都市への市民派遣数	人	19	目標値	0	15	0	50	0	達成	102.0	姉妹都市締結30周年記念としてサレルノ訪問を実施。50名の目標に対し51名が参加。姉妹都市の交流と今後の絆を深めることができた。	生涯学習スポーツ課	
			実績	16	0	0	51							
4 ふるさとの文化を育むまちづくり (22指標)	8	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	53.2	目標値	53.3	53.3	53.4	53.4	53.5	達成	100.7	<p>全体としては、目標を達成している状況である。</p> <p>学年ごとの結果を見ると、市内11校において、2・3・4年生では10校、5年生では11校、6年生では8校が全国平均を上回っている状況である。</p> <p>各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用しており、学力向上に向け、各中学校区ごとの授業改善の取り組みを継続支援する。</p> <p>※小学校2～5年生の国語、算数、小学校6年生の国語、社会、算数、理科が対象。</p>	学校教育課
					実績	52.5	52.4	53.4	53.8					
9	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	50.3	目標値	50.4	50.5	50.6	50.7	50.8	概ね達成	95.5	<p>全体としては、概ね目標を達成している状況である。</p> <p>学年ごとの結果を見ると、市内3校において、全国平均を上回っているのは、1年生で2校という状況である。</p> <p>各学校においては、結果を分析し、授業改善及び個別指導の資料として活用しており、学力向上に向け、各中学校区ごとの授業改善の取り組みを継続支援する。</p> <p>※中学校1年生の国語、社会、数学、理科、中学校2・3年生の国語、社会、数学、理科、英語が対象。</p>	学校教育課	
				実績	49.1	48.5	47.7	48.4						
10	学習定着度状況調査(小学校)	県平均を上回る点差	1.4	目標値	(+1.6)	(+1.7)	(+1.8)	(+1.9)	(+2.0)	概ね達成	97.1	<p>岩手県学習定着度状況調査の県平均点は69.4点である。目標値は、県平均を1.9点上回る71.3点である。</p> <p>全体としては、目標を概ね達成している状況である。</p> <p>算数が県の平均を上回っている。国語、社会、理科の3教科も県と比較した達成状況は97%以上である。</p> <p>各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでおり、学力向上に向け、各中学校区ごとの授業改善の取り組みを継続支援する。</p> <p>※カッコ内の数値は県平均との差。</p> <p>※平成26年度調査は、小学校5年生の国語、社会、算数、理科が対象。</p>	学校教育課	
				実績	(+2.1)	(-0.6)	(+1.7)	(-0.2)						
11	学習定着度状況調査(中学校)	県平均を上回る点差	0.0	目標値	(+0.2)	(+0.4)	(+0.6)	(+0.8)	(+1.0)	概ね達成	96.1	<p>岩手県学習定着度状況調査の県平均点は56.3点である。目標値は、県平均を0.8点上回る57.1点である。</p> <p>全体としては、目標を概ね達成している状況である。</p> <p>2年生の国語と理科は県の平均を上回っている。数学、英語は県と比較した達成状況は97%以上である。</p> <p>各学校においては、この結果をもとに補充指導及び個別指導に取り組んでおり、学力向上に向け、各中学校区ごとの授業改善の取り組みを継続支援する。</p> <p>※カッコ内の数値は県平均との差。</p> <p>※平成26年度調査は、中学校1年生の国語、数学、中学校2年生の国語、社会、数学、理科、英語が対象。</p>	学校教育課	
				実績	(-2.7)	(-3.0)	(-3.3)	(-1.4)						
12	学校給食食材に占める地場産物使用割合	%	63.0	目標値	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	達成	100.5	<p>年間を通して、地産地消を意識した給食メニューの工夫を図るとともに、年3回の「遠野まるごと給食」の実施を継続するなど、産直組合、食育関係団体と連携しながら遠野産食材の使用に努めた。</p> <p>また、Y・Y推進女性の会提供の「遠野っ子に食べさせたい給食メニュー」を活用するなど、地産地消メニューを積極的に提供した。</p>	学校給食センター	
				実績	65.3	69.5	67.6	65.3						
13	全講座における継続的な学習機会の割合	%	40.9	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	概ね達成	92.5	多様な市民ニーズに対応し、各種講座を実施した。新しい講座を試行的に実施したことにより継続性は減少したが、好評だったものについては来年度継続講座として展開したい。	生涯学習スポーツ課	
				実績	41.1	38.6	40.0	37.0						
14	市民センター・地区センター生涯学習講座の延べ受講者数	人	4,682	目標値	4,730	4,760	4,790	4,820	4,850	達成	101.9	生涯学習講座等の業務を委託し、民間活力を生かし様々な講座を開催した。好評な講座は回数を増やし延べ受講者数の増につながった。地区センターにおいても、高齢者大学等を開催し、生涯学習の普及を行った。	生涯学習スポーツ課	
				実績	5,062	4,513	4,535	4,911						

遠野市総合計画後期基本計画まちづくり指標（平成26年度実績）

大綱	No.	まちづくり指標		現状 (21年度)	年度別目標と実績					達成状況	達成率	成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	23年度	24年度	25年度	26年度					27年度
4 ふるさとの文化を育むまちづくり (22指標)	15	家庭教育講座等の延べ参加者数	人	750	目標値	900	900	950	950	1,000	達成	164.0	各地域、小中学校等の課題に対応した講座を企画し、児童・保護者・教職員等が参加した。情報機器に関する講演やメディアと子どもの関係、子育てや生活習慣のあり方、命についてなど多岐にわたる講座を通して、児童・生徒の意識を高めるとともに、保護者等の家庭教育力の向上を図ることができた。	生涯学習スポーツ課
					実績	1,214	1,098	1,031	1,558					
	16	芸術文化協会加盟団体の自主事業数	回	12	目標値	12	12	13	13	14	達成	115.4	大ホール3回、中ホール3回、みやもりホール4回、その他会場5回それぞれ開催した。	生涯学習スポーツ課
					実績	11	15	16	15					
	17	市民協働の芸術文化事業の参加者数	人	2,099	目標値	1,890	1,900	1,940	1,950	1,980	概ね達成	90.8	体育館改修により市民芸術祭の総合展示会の規模を縮小したことによる減少である。平成27年度は大ホール改修があることから、みやもりホール、交流ホール等他の施設を活用させ市民参加の向上につなげる。	生涯学習スポーツ課
					実績	2,027	2,293	2,099	1,771					
	18	市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数	人	10,414	目標値	8,000	8,250	8,500	8,750	9,000	達成	111.9	遠野物語ファンタジー40周年記念公演や狂言風オペラ公演の開催等により大幅な増となった。	生涯学習スポーツ課
					実績	7,508	9,693	8,880	9,792					
	19	博物館入館者数	人	22,470 (20年度)	目標値	35,000	36,700	38,500	40,500	42,500	未達成	48.4	前年比8%減少となった。夏季特別展開催期間中は前年比2割増であったが、その他の期間の入館者を伸ばすことができなかった。今後は特別展や講座・教室等の開催に力を入れ、市外のみならず市内の需要を喚起できるように努める。	文化課
					実績	22,605	28,014	21,424	19,613					
	20	博物館講座等の受講者数	人	815	目標値	850	870	880	900	920	達成	104.9	市内小中学校と連携し、博物館教室等教育普及事業を行った。展示解説だけでなく、体験活動を重視した出前授業など、学校側の要望を聞きながら事業を実施したことが効果的であった。	文化課
					実績	780	909	913	944					
	21	図書館の利用者数	人	18,089	目標値	19,100	19,300	19,500	19,700	19,900	未達成	86.3	博物館と連携した企画や図書館内資料を活用した展示等を実施し図書館利用に努めたが、目標を達成できなかった。今後は、新刊図書も含め蔵書の充実を図るとともに、利用者のリクエストにも応じながら、利用しやすい環境づくりに努める。	文化課
					実績	20,640	20,638	19,257	17,008					
22	市民への図書貸出冊数 *近年の読書傾向や児童数の減少等から、平成24年度に目標値を見直した。	冊	65,004	目標値	102,000	80,600	81,000	81,300	81,600	未達成	81.1	利用者が利用しやすいように図書・書棚の配置替えを実施したが、目標を達成できなかった。今後は、利用者のリクエストにも応じながら新刊図書を含め、多分野にわたる蔵書の充実を図り、利用者が利用しやすい蔵書構成、環境づくりに努める。	文化課	
				実績	70,682	71,706	70,273	65,905						
23	移動図書館車の貸出冊数	冊	10,032	目標値	10,200	10,300	10,400	10,500	10,600	達成	109.8	利用者のリクエストに応じながら、細やかに巡回したことにより目標を達成することができた。今後も、利用者のリクエストに応じながら読書普及に努める。	文化課	
				実績	10,823	11,618	11,243	11,526						
24	学校図書館への貸出冊数	冊	12,510	目標値	13,200	13,400	13,600	13,800	14,000	達成	111.1	学校図書室と連携し図書を出したことにより、目標を達成することができた。今後も、学校図書室と連携しながら貸出図書の充実を図り、読書普及に努める。	文化課	
				実績	13,840	13,600	15,150	15,330						
25	指定文化財説明板設置件数（累計）	基	40	目標値	48	56	64	72	80	達成	122.2	計画を前倒しで実施した。今後も老朽化した標柱、説明板の更新を行い指定文化財の周知と啓発に努める。	文化課	
				実績	45	69	80	88						
26	民俗芸能の映像記録件数（累計）	件	17	目標値	19	20	21	22	23	達成	100.0	堅実に映像記録を継続した。	文化課	
				実績	19	20	21	22						
27	遠野文化研究センター活動の参画者	人	—	目標値	50	65	80	90	100	達成	853.3	遠野の歴史を築いた先人について学ぶ土曜講座（9回）や金曜夜の読書会「遠野古事記を読む」（11回）、昔話教室、遠野学会などの開催により、市民へ学習の機会を提供し目標を達成することができた。	調査研究課	
				実績	4,248	1,665	478	768						
28	遠野文化フォーラム参加者	人	—	目標値	100	110	120	130	140	達成	307.7	8月23日には「昔話と暴力」をテーマに、あえりあ遠野交流ホールで基調講演とシンポジウムを行った。8月24日には「グリム童話と遠野物語」をテーマに、遠野みらい創りカレッジで若手研究者を中心とした研究報告とシンポジウムを行い、市民を巻き込んで活発な議論が展開された。社会問題に迫るテーマであったため、市民の関心が高く目標を達成することができた。	調査研究課	
				実績	500	250	300	400						
29	遠野こだわりの「語り部」認定者数	人	376	目標値	550	600	650	700	750	達成	101.4	平成26年度は昔話3人、子ども語り部81人、歴史8人、郷土芸能4人、生業2人の合計98人を認定した。特に子ども語り部の認定が増加し、目標を達成することができた。今後も学校教育と連携しながら、次世代への文化の継承を図る。	調査研究課	
				実績	531	579	612	710						
5 みんなで作る支え合うまちづくり (2指標)	30	各委員、協議会の女性参画率	%	22.5	目標値	23.0	23.5	23.9	24.4	24.9	達成	110.7	条例等で設置されている審議会等への女性登用が浸透し目標値は達成したものの、前年度と比較し委員総数及び女性委員数が減少したことから、前年比が微減となった。改選期等の機会を捉えて女性委員の登用を呼び掛け、女性の活躍できる場づくりを更に進めていく。	生涯学習スポーツ課
					実績	20.7	23.8	27.3	27.0					
31	地域活動における女性の参画率	%	23.5	目標値	24.4	25.4	26.4	27.5	28.6	未達成	78.9	審議会等での女性登用は目標を達成しているものの、地域活動における女性の参画率は目標を下回るものとなった。敬老会や地域づくり大会等をはじめとする様々な地域活動に女性の協力が不可欠ではあるが、依然として女性が組織の役職に就くことが敬遠されている現状が見える数値となった。引き続き、地区センター等と連携し積極的な女性登用を呼び掛けるとともに、「固定的役割分担意識」を解消し、女性が活躍しやすい社会づくりに取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	23.4	24.2	22.0	21.7						